

第9号議案 令和2年度長崎市一般会計予算

目 次

1	特別支援教育充実費	P 1 ~ 3
2	学力向上推進費	P 4 ~ 6
3	国際理解教育推進費	P 7 ~ 10
4	キャリア教育推進事業費	P 11 ~ 14
5	耐力度調査費（小学校・中学校）	P 15 ~ 16
6	教科書・指導書購入費	P 17 ~ 21
7	要保護及び準要保護児童生徒就学援助費（小学校・中学校）	P 22 ~ 23
8	特別支援教育就学奨励費（小学校・中学校）	P 24 ~ 25
9	【補助】小学校整備事業費 伊良林小校舎等改築	P 26 ~ 33
10	【補助】小学校整備事業費 大規模改造	P 34 ~ 37
	【補助】中学校整備事業費 大規模改造	P 34 ~ 37
11	【補助】小学校整備事業費 ブロック塀等改修	P 38 ~ 40
	【補助】中学校整備事業費 ブロック塀等改修	P 38 ~ 40
12	【単独】小学校整備事業費 仁田佐古小校舎等建設	P 41 ~ 51
13	【単独】小学校整備事業費 西浦上小校舎等改築	P 52 ~ 55
14	【単独】小学校整備事業費 小島小校舎等改築	P 56 ~ 59
15	【単独】小学校整備事業費 大規模改造	P 60 ~ 63
	【単独】中学校整備事業費 大規模改造	P 60 ~ 63
16	【単独】小学校整備事業費 諸工事	P 64 ~ 66
17	【単独】高等学校整備事業費 大規模改造	P 67 ~ 68
18	市立図書館運営費	P 69 ~ 70
19	【単独】科学館施設整備事業費 科学館設備整備	P 71 ~ 72
20	恐竜化石等研究調査費	P 73 ~ 73
21	【単独】恐竜博物館整備事業費 恐竜博物館建設	P 74 ~ 78
22	【単独】学校給食施設整備事業費 学校給食センター建設	P 79 ~ 83
23	【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館施設整備	P 84 ~ 86
24	【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館設備整備	P 87 ~ 89



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
274～ 275	10 教育費	1 教育総務費	5 教育諸費	1-2	特別支援教育充実費	千円 207,616

1 概 要

発達障害を含む障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、市立小中学校における特別支援教育支援員の配置による支援の充実や専門家による巡回相談の実施、特別支援教育交流会や教職員の専門性向上のための特別支援に関する研修会の実施をとおして特別支援教育の充実を図る。

また、幼児の就学先決定に至るまでの情報収集及び資料作成をする早期支援コーディネーターの配置並びに教育支援委員会の実施により障害のある就学児や教育上特別な配慮を必要とする児童生徒の適切な就学措置を行う。

2 事業内容

(1) 特別支援教育支援員の配置 (197,189千円)

ア 配置目的

通常学級及び特別支援学級において、児童生徒への個別の教育的支援の充実と学校教育活動の円滑化を図る。

イ 具体的な業務内容等

- ・ 基本的な生活習慣（食事・更衣・排泄など）における支援や介助
- ・ 障害の特性（感覚過敏・注意集中の促しなど）に合わせた、補助具の使用や環境の調整（学習活動時、集会や行事等含む）
- ・ 教室間移動における肢体不自由児の階段昇降や車いすの支援、多動児の見守りや安全の確保
- ・ 勤務時間…月曜日～金曜日、8時15分～15時15分

ウ 実績及び予定

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
支援が必要な学校数	70校	67校	63校	63校
配置する支援員数	119人	120人	120人	120人

エ 支援員を対象とした研修会の実施

- ・ 目的 個別の教育的支援の充実と教育活動の円滑化を図るために特別支援教育支援員を対象に毎年2回、研修会を実施している。
- ・ 内容 長崎市障害福祉センターの理学療法士・作業療法士等による講義や演習、支援員同士の情報交換

オ 支援員の配置基準

- ・知的障害特別支援学級においては、在籍児童生徒が6人以上の場合
- ・肢体不自由特別支援学級及び自閉症・情緒障害特別支援学級等においては、児童生徒の障害の実態によりその必要性を認める場合
- ・通常の学級においては、児童生徒の障害の実態によりその必要性を認める場合

カ 期待される効果

- ・日常生活における身辺自立の向上。
- ・感覚過敏や特性に配慮を行うことにより、児童生徒の注意集中の持続が長くなり、成功体験が増える。（失敗体験の減少）
- ・衝動的な行動を予防し、周囲とのトラブルを未然に防ぐことができる。
- ・複数児童生徒の指導を行う担任だけではできなかった細やかな介助や支援と安全性の確保が可能となり、参加できる活動が増え、保護者の安心感が高まる。

(2) 巡回相談の実施 (1,244 千円)

発達障害等に関する大学等の専門家及び特別支援学校の教員を派遣することにより、発達障害を含む障害のある児童生徒の早期発見及び早期対応を図る。

- ・大学等の専門家（実施回数 年間 80 回、1 回 3 時間、5,000 円×3 時間＝15,000 円）
- ・特別支援学校の教員（実施回数 年間 350 回、1 回 3 時間※市の支出は交通費のみ）

(3) 早期支援コーディネーターの配置 (7,069 千円)

小学校への入学に際し、発達障害を含む障害のある幼児が、それぞれの障害や特性に合わせた教育を継続できるよう、保護者や関係機関などと連携を図りながら指導上必要な情報集約を行い、その情報を確実に就学先に引き継ぐとともに、子どもたち一人ひとりを系統的に支援してためのサポートファイルの活用を充実させることを目的として、早期支援コーディネーター3人を配置する。

(4) 特別支援に関する研修会の実施 (193 千円)

特別な支援を必要とする児童生徒に関わる教職員が、特別支援教育に関する基本的な知識や指導の在り方等を習得するための研修会を実施する。

- ・特別支援教育に関する研修会（4 回実施）

(5) 特別支援教育交流会の実施 (750 千円)

児童生徒の相互交流や共同学習をとおして、相互理解を図る。

- ・小学校中学校特別支援学級交歓会
- ・地域交流推進事業（小学校）
- ・学習発表会展示会、ふれあい体験学習（中学校）

(6) 教育支援委員会の実施 (805 千円)

障害のある就学児や教育上特別な配慮を必要とする児童生徒の適切な就学措置について調査及び審議するため、長崎市附属機関に関する条例に基づき設置された機関であり、小児科、眼科、耳鼻科、整形外科、精神科の医師、また、教育学、心理学が専門の学識経験者、障害者団体・親の会代表、障害者センター職員、教職員など障害児の教育に関する専門家計 14 人によって構成する。

・10月～1月、5回実施

※上記以外に事務経費 366 千円

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債	その他※2	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
207,616	7,716	—	—	499	199,401

※1 教育支援体制整備事業費補助金 (補助率 1/3)

※2 保険料個人負担金

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
274~ 275	10 教育費	1 教育総務費	5 教育諸費	1-7	学力向上推進費	千円 10,959

1 概 要

長崎市立のすべての小中学校において小学3、4年生と中学1年生の学力テストを実施することにより、全国や県の調査と併せて経年的に学力を客観的に測り、個々の児童生徒の課題に沿った細やかな学習指導を行うことで、国語と算数・数学の基礎的な学力の定着を図る。英語については、中学2年生において「英検I B A」（英語能力測定テスト）を実施し、英検3級相当の英語力定着を目指す。

また、長崎市の子どもたちの学力を向上させるために、教科指導等の研修会開催や研究指定を行い、教師の指導力向上をめざす。

2 事業内容

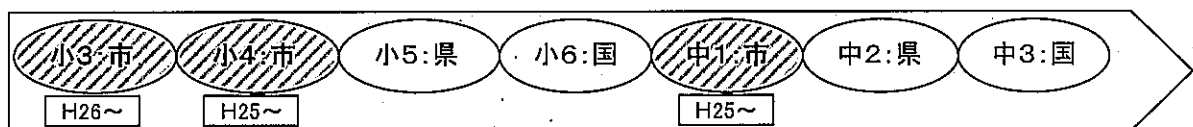
(1) 小3・4、中1標準学力調査（国語、算数・数学）

ア 事業費 7,066 千円

@380 円×2 教科×児童生徒数分 9,297 人

イ 業務内容

- ・長崎市立のすべての小学3、4年生と中学1年生に対して、国語と算数・数学の標準学力調査を実施する。
- ・全国学力・学習状況調査（小6・中3）、長崎県学力調査（小5・中2）と、合わせて市の学力調査が相互に補完することで、小学3年生から中学3年生までの7か年に渡り、児童生徒の学力の細やかな把握や経年比較が可能となる。このことにより、個々の児童生徒の課題に沿った細やかな学習指導を行うとともに、小中連携の強化により、継続した学力向上に努める。



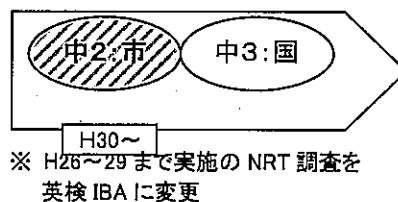
(2) 中2、英検 I B A (英語)

ア 事業費 1,647 千円

@580 円×生徒数分 2,840 人

イ 業務内容

- ・英語によるコミュニケーション能力の育成及び国が求める英検3級相当の英語力定着の達成を図るため、英語能力測定テスト「英検 I B A」を中学2年生で実施する。
- ・英語力の到達状況や客観的なデータを各生徒に提示することで、生徒たちの課題改善や学習意欲の向上、その後の積極的な英検受験につなげる。また、実施後に提供される英検級レベル別人数分布や技能別正答率、不得意分野の分析資料等を教職員の授業改善のための資料として有効活用し、教職員の指導力向上を図る。



(3) 市研究指定

ア 事業費 1,486 千円

市研究指定 350 千円 (70,000 円×5 校)

研究部会研究費 1,136 千円 (消耗品費等 幼2・小21・中22・高1)

イ 業務内容

指導法の改善や教職員の資質向上のため、各種研修会や研究指定を実施する。

(4) 県研究指定

ア 事業費 710 千円

県研究指定 (205,000 円×2 校 300,000 円×1 校)

イ 業務内容

県教育委員会の委託を受け、指定校において指導法の改善等の研究を実施する。

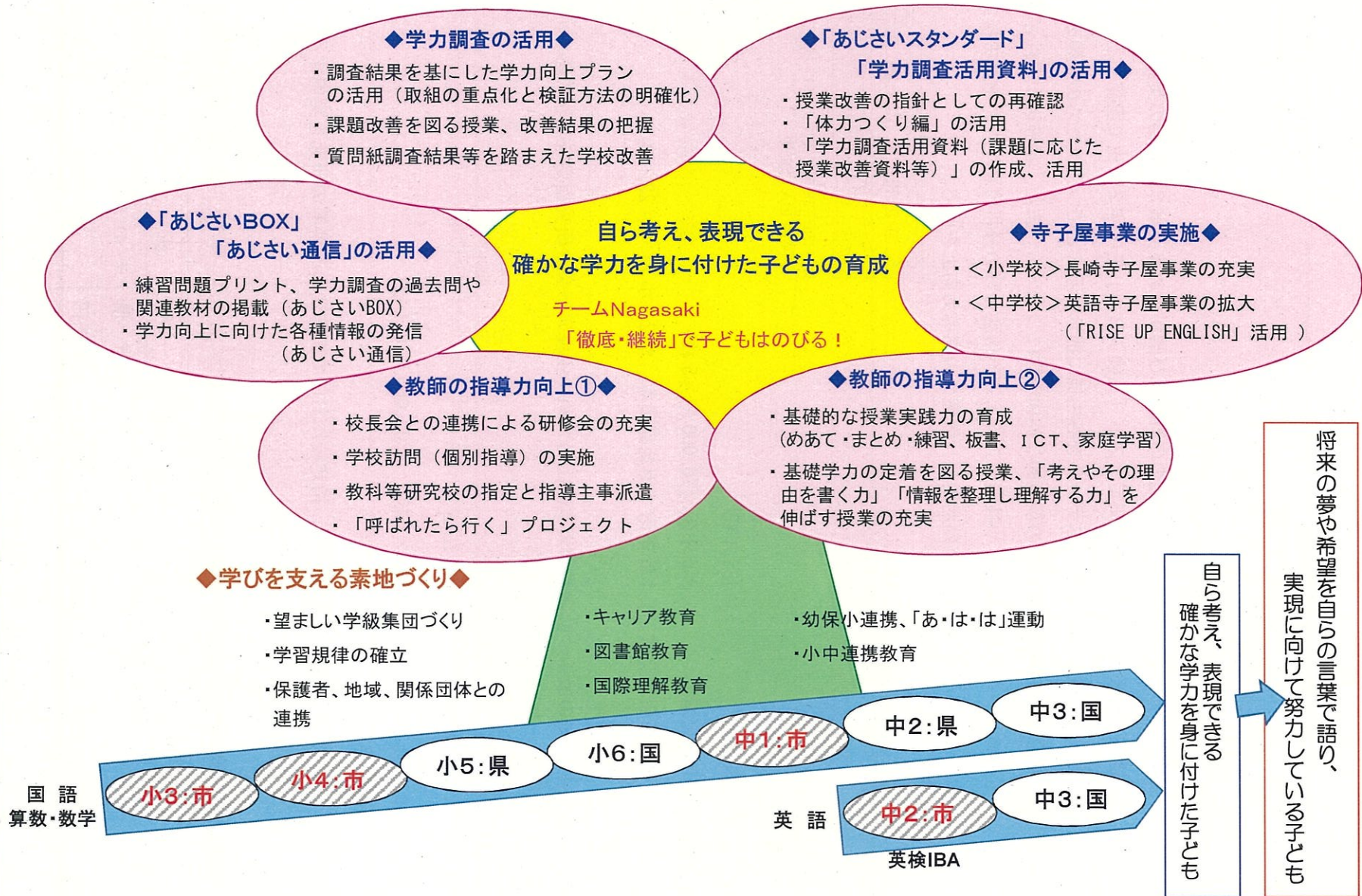
3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金※1	地方債	その他※2	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
10,959	—	710	—	1,647	8,602

※1 長崎県教育委員会公募制研究指定校委託料等

※2 教育基金繰入金

令和2年度 学力調査を検証軸とした学力向上の取組



長崎市学力調査を実施し、各種学力調査を「継続した学力向上の取組」の検証軸とする

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
274～ 275	10 教育費	1 教育総務費	5 教育諸費	1-8	国際理解教育推進費	千円 203,858

1 概 要

国際化が進むこれからの時代にふさわしく、様々な国の人と共に生きる豊かな心を育てるため、自国の文化や伝統を大切にすると共に、他国の歴史や文化について理解を深め、自ら進んで外国人と交流しようとする国際感覚豊かな子どもを育成するために国際理解教育の推進を図る。

2 事業内容

(1) 小中9年間を通じた英語教育の推進

ア 事業費 201,403千円（ALT報酬・住居借上等184,832千円、JETプログラム負担金・渡航費用等8,413千円、EEI謝礼金等7,907千円、その他消耗品費等251千円）

イ 業務内容 JETプログラムで招致した36人の外国語指導助手（ALT）を市立全小中学校に、市内在住の英語が話せる小学校英語インストラクター（EEI）を市立小学校58校に派遣し、児童生徒に生の英語に触れさせ、英語に対する興味を高めさせる。ALTは、「スピーチコンテスト」や「グローバルリーダー研修会」、「イングリッシュキャンプ（日吉自然の家）」「英語でNAGASAKIめぐり（生涯学習課）」「子どもゆめ体験（国際課）」等の運営や指導も行っている。

(2) あじさいグローバルリーダー研修会

ア 事業費 286千円（謝礼金10千円、その他船車券購入費等276千円）

イ 業務内容 学校から代表者2名ずつを集め、2日間の研修を通して、ふるさと長崎の国際理解教育を推進するリーダーを育成し、グローバルな視点を身に付けさせるとともに、国際的視野に立って地元を活性化させようとする若者の育成につなげる。

- ・講演、班別研修（道案内・名所説明の模擬体験）
- ・フィールドワーク（長崎の観光地の道案内・名所説明の現地体験）
- ・班別研修（おもてなし英会話集の作成・研修会のまとめ）

(3) スピーチコンテストの実施

- ア 事業費 162 千円(審査員謝礼金 32 千円、その他消耗品費等 130 千円)
- イ 業務内容 学校代表者の中から一次審査を通った生徒による英語スピーチコンテストを実施し、ふるさと長崎について発信する機会をもつことで、英語で自分の考えを伝える態度や表現力を育成するとともに、国際舞台で活躍する人材の育成に努める。

(4) 国際交流イベントの実施

- ア 事業費 125 千円(消耗品費等 120 千円、保険料 5 千円)
- イ 業務内容 出島やブリックホール、日吉自然の家などの施設を利用し、外国語指導助手(ALT)と児童生徒が触れ合う国際交流イベントを開催する。
- ・国際交流イベント
 - 「あじさいイングリッシュ・デーFun Fan 出島(学校教育課)」
 - 「あじさいイングリッシュ・デー(国際課)」
 - 「子どもゆめ体験(国際課)」
 - 「イングリッシュキャンプ(日吉自然の家)」
 - 「英語でNAGASAKIめぐり(生涯学習課)」

(5) 中学校英語寺子屋事業の実施

- ア 事業費 555 千円(謝礼金 2,100 円×24 校×11 時間)
- イ 業務内容 市が求める温かなコミュニケーション能力と、国が求める英語力(英検 3 級程度)の育成を図るため中学校に E E I や ALT を派遣し、おもてなし英語講座や学力向上講座が提供される「英語寺子屋」を長期休業中や放課後に展開する。
- H28:10 校 H29:21 校 H30:24 校 H31:24 校 R2:24 校(予定)

(6) 中国福州市友好交流事業の実施

- ア 事業費 1,327 千円
- 教育旅行団派遣
 - (教育長・校長 2 名・教育委員会事務局 1 名) 1,147 千円
 - 交流事業消耗品・通信費・トラック借上料 180 千円
- イ 業務内容 長崎市と中国福州市との友好都市提携が 40 周年を迎えることに伴い、福州市の学校と、市立中学校・高等学校各 1 校とが友好学校として協議書を交わし、訪問時の受入れ等、学校間交流を実施する。

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金※1	地方債	その他※2	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
203,858	—	277	—	19,003	184,578

※1 学力向上のための非常勤講師等配置支援事業補助金（補助率 1/2）

※2 宿舍借上料負担金等

2020年度 長崎市が推進する国際理解教育

～自ら進んで交流しようとする国際性豊かな児童生徒の育成～

小学校 新学習指導要領 完全実施(外国語活動[中学年]、外国語科[高学年])

中学校 2021年度 新学習指導要領 完全実施、新教科書 使用開始

国の動き

高等学校 大学入試新制度 導入に向け準備

ALT = 外国語指導助手 (Assistant Language Teacher)

EI = 小学校英語インストラクター (Elementary English Instructor)

4技能5領域 = 聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くこと

育成する資質・能力



小1・2年(ALT)

ハローイングリッシュ活動

英会話やゲームを通して異文化への興味・関心を高める。

小3・4年(EI)

外国語活動

「聞くこと」「話すこと」を中心に「読むこと」も含めたコミュニケーション能力の素地を養う。

小5・6年(ALT)

外国語科

4技能を使うことでコミュニケーション能力の基礎を養う。

新教科書使用開始

[小学校] ALTが週に1回 各学校で勤務

中1年(ALT)

外国語科

音声と文字とのつながりを効果的に学ぶ。
4技能(5領域)を総合的に活用させることでコミュニケーション能力の基礎を培う。

中2年(ALT)

外国語科

暗唱やスピーチなどを通して表現力を高める。
4技能(5領域)を総合的かつ系統的に活用させることでコミュニケーション能力を伸ばす。

市学力調査
英検IBA

中3年(ALT)

外国語科

スピーチやディスカッション、ディベートなどを通して表現力を高める。
4技能(5領域)を総合的かつ系統的に活用させることでコミュニケーション能力を高める。

学力調査
全国/県

文科省が示す達成指標: 中学校卒業時CEFR-A1上位(英検3級相当)
長崎市達成率: 50.9% (H30) ←2月に更新します

[中学校] ALTが週に1回以上 各学級で協同授業

ライズアップ&スプリングコンテスト(全ての中学校で実施)※中3までに40%が上級を取得

「あじさいイングリッシュ・スピーチ・コンテスト」市立全中学校から募集
市教委主催の英語スピーチ大会。

「ふるさと長崎」に対する思いを発信できる生徒、英語が話せる生徒を育てる。



- ・授業における暗唱やスピーチの実施
- ・校内における暗唱/スピーチ大会の実施
- ・あじさいスピーチコンテストへの応募
- ・県暗唱大会や各種大会への応募奨励



「あじさいグローバルリーダー研修会」

全ての中学校(1・2年生)から2人ずつ市教委主催の研修会。各校における国際理解教育の「核」となる推進リーダーを育てる。

- ・国内外で活躍する地域人材の体験談を聴講
- ・長崎市内の観光地で外国人に道案内と見どころ説明



「英語寺子屋」全ての中学校で実施

EIの英会話指導や学習指導を通して、英語が「話せる」「分かる」喜びを体験させる。

「あじさいイングリッシュ・デー Fun Fan 出島」小学生・希望者
市教委主催の国際交流イベント。ゲームを通して英語を学び、海外諸国への興味・関心や国際交流への意欲を高める。



国際課「あじさいイングリッシュ・デー Kids' Course」小1～4年生・希望者
絵本の読み聞かせや英語かるたなど、ゲームを通して英語に親しむ。

日吉自然の家「日吉イングリッシュ・キャンプ」小5～中学生・希望者
オリエンテーリングやカレーづくりなど野外活動を通して英会話を満喫する。

小中9年間の
学びで目指す

「話せる
英語力」
と

「基礎・基本
の定着」

海外修学旅行生との交流 (全校を対象) *小10校 中11校 (R1)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
274~ 275	10 教育費	1 教育総務費	5 教育諸費	1-9	キャリア教育推進事業費	千円 17,816

1 概 要

未来の長崎のまちを支える担い手である児童生徒に対し、長崎市版キャリア教育「長崎LOVERS育成プログラム」の下、社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を養うだけでなく、長崎のまちを愛する気持ちとそれを行動に移す力やグローバルな視点を身に付ける取組みを行う。

2 事業内容

(1) 職業講話の実施

ア 事業費 1,712千円（講師謝礼金 4,000円×4人×小・中107校）

イ 事業の概要

地元長崎で活躍している医療、福祉、建築、スポーツ等の専門家や職業人を、長崎市立小・中学校に招聘し、職業講話や体験活動を通じて交流を深める。児童生徒が夢や憧れを抱き、志を高める学習の充実を目指す。

ウ 講師派遣数 全小学校で272人 全中学校で156名 計428名

令和2年度は、将来は長崎で就職し社会人として活躍していきたいと願う生徒の夢を応援するため、看護師や医療関係等、現在、地元での求人数の多い職種の講師の派遣について充実させる。

(2) 弁護士による法教育講座

ア 事業費 250千円（講師謝礼金 10,000円×弁護士1名×小・中25校）

イ 事業の概要

公職選挙法の一部改正に伴う法教育の充実や、児童生徒が社会の課題を自らの課題として捉え、改善に向かっていこうとする態度を育成するため、弁護士を講師とした法教育や模擬選挙等の主権者教育を推進する。

ウ 実施校数 小・中25校

社会科等の授業と関連付けた法教育の充実を希望する学校で講座を実施する。

(3) 市立学校間ふれあい交流学习

ア 事業費 730千円（交通費：船車券購入費132千円、自動車借上料598千円）

イ 事業の概要

学校規模や小・中の校種の違う学校の児童生徒が「少人数だからこそ」「大人数だからこそ」といった自らの強みや弱みを分析しながら、特長を伸ばすとともに、課題改善のための方策を考え、対話によって交流する学習を通して、コミュニケーション能力や課題解決の能力の向上を目指す。

ウ 対象校 極小規模校と近隣にある小・中学校

実施予定校：高島小・中、西坂小、池島小・中、伊王島小・中、南小中、西浦上小、長浦小、外海黒崎小（小学校8校、中学校4校）

(4) 宿泊体験推進事業

ア 事業費 10,975 千円 (自動車借上料等 6,296 千円 体験業務委託料 3,945 千円
その他 734 千円)

イ 事業の概要

日吉自然の家での集団宿泊活動に加えて、長崎ならではの農業・水産業に関する体験により豊かな人間性や社会性を育み、あわせてふるさとのよさを実感し、長崎を愛し、誇りを持たせる。

ウ 対象 全ての市立小学校の 5 年生

(5) 「長崎の宝」発見発信学習

ア 事業費 3,677 千円 (講師謝礼金 415 千円 自動車借上料等 3,262 千円)

イ 事業の概要

長崎の歴史や世界遺産等を学習する活動を通して、ふるさとのよさを実感し、長崎を愛し、誇りを持たせる。

○ジュニア版歴史学校コース

長崎市立小学校で、長崎歴史文化博物館見学や市内の史跡めぐりなど、長崎の歴史を知るための学習活動を希望する学校にその交通費やガイド料の補助を行う。

○世界遺産発見コース

長崎市立中学校で、グラバー園、小菅修船場跡、ジャイアントカンチレパークレーン、長崎造船所資料館、教会群など、長崎にある世界遺産を知るための学習活動を希望する学校に、その交通費やガイド料の補助を行う。

ウ 対象校 実施希望調査を行い、調整して実施校を決定する。

(6) 生徒会リーダー研修

ア 事業費 196 千円 (船車券購入費 160 千円 食糧費 36 千円)

イ 事業の概要

長崎市立中学校の生徒会長等のリーダーを集め、いわき市との交流や中学生議会を体験させる。このような体験を通して、長崎の中学生のリーダーとしての意識を高め、各学校での「いじめ防止」や長崎のまちづくりの当事者としての意識を高める。

ウ 対象 全ての市立中学校の生徒会役員 (生徒会長・副会長等) 各 2 名

(7) まちづくりアイデアコンテスト

ア 事業費 276 千円 (報償費 75 千円 消耗品費 83 千円 印刷製本費 110 千円
会場借上料 8 千円)

イ 事業の概要

子どもたちの社会参画への意欲を高めるため、長崎市内の小学校に通う小学生に、未来のまちづくりについて考えたアイデアを市長に提案させ、優秀な作品については表彰を行う。

ウ 対象 小学 5・6 年生

身近なものから課題を見つけ、改善のために実現可能な方策を考えることができる発達段階にある小学 5・6 年生を対象に、総合的な学習の時間等、各小学校の教育課程に位置づけて学習を積み重ねた「私が考える未来の長崎市」を提案させる。

エ 表彰 優秀賞 20 作品 佳作 110 作品 計 130 作品

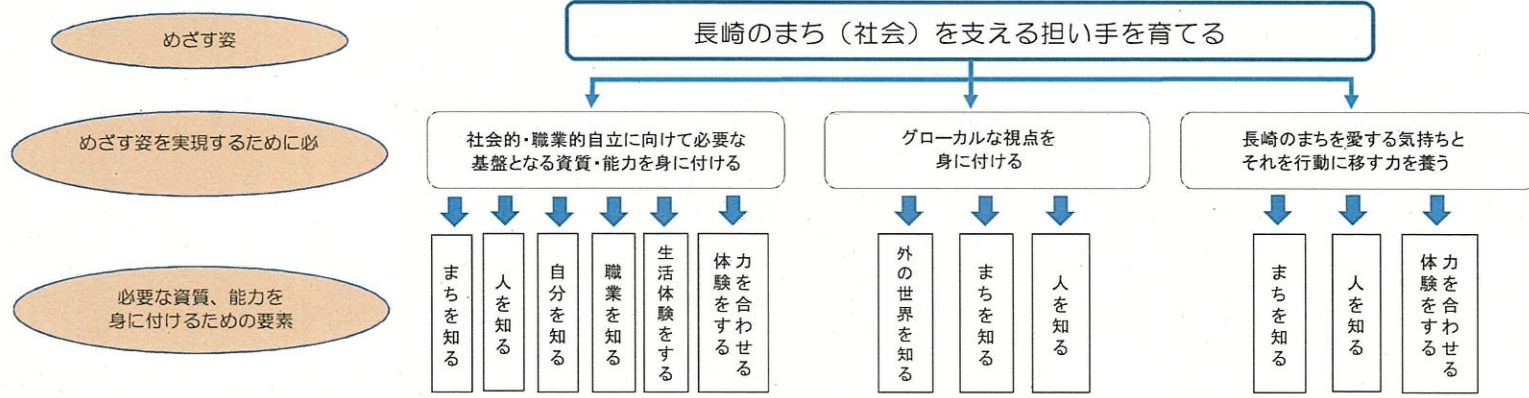
表彰作品数を 130 作品とする。優秀賞を受賞した 20 名は、令和 2 年 11 月（予定）の発表会においてプレゼンテーションを行い、市長に提案する。

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他※	一般財源
千円 17,816	千円 -	千円 -	千円 -	千円 17,816	千円 -

※教育基金繰入金(17,816 千円)

長崎LOVERS育成プログラム(長崎市版キャリア教育)に係る体系図



長崎LOVERS育成プログラム(長崎市版キャリア教育)に係る取組方針と取組事例

【取組方針】

- ◆ 「長崎のまち(社会)を支える担い手を育てる」という目標に向けて、長崎のまちに対する誇りや、長崎で活躍する人へのあこがれを抱くことができる取組みとする。
- ◆ 子どもたちが身に付けるべき力を適切に高めることができるよう、子どもたちの成長段階に応じて適切に事業を構築する。(成長に合わせて高度化・専門化する。)

【子どもの成長段階に応じた具体的取組事例】

成長段階	目標	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける	グローバルな視点を身に付ける	長崎のまちを愛する気持ちとそれを行動に移す力を養う
高校生	「社会的・職業的に自立する資質・能力」と「グローバルな視点」を高め、長崎のまちを愛する気持ちとそれを行動に移す力を養う。	企業見学 バスツアー		
中学生	・「知る力」をさらに高め、「自ら考え、自らの言葉で伝える力」を身に付ける。 ・「社会的・職業的に自立する資質・能力」と「グローバルな視点」を身に付け、長崎のまちを愛する気持ちを養う。	市立学校間ふれあい交流学習 キャリア教育講師による講話 中学生議会 いわき市との交 職場体験	あじさいイングリッシュ・スピッチ・コンテスト 英語寺子屋 イングリッシュ・キャンプ	長崎の宝」発見・発信学習 子どもゆめ体験事業 青少年平和交流 中学生議会 いわき市との交 平和学習発表会開催 青少年平和交流 子ども農山漁村交流体験 地域コミュニティ協議会による事業
小学生(高学年)	「知る力」をより高め、「力を合わせる」ことと「考える・伝える力」を身に付ける。	宿泊体験学習 介護人材確保 対策事業	あじさいイングリッシュ・デー	まちづくりアイデアコンテスト 長崎学児童研究コンクール
小学生(中学年)	「知る力」を高める。			
小学生(低学年)	「知る力」を身に付ける。			

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
276~ 277	10 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	2-3	小学校管理費 耐力度調査費	千円 16,633
280~ 281	10 教育費	3 中学校費	1 学校管理費	2-3	中学校管理費 耐力度調査費	千円 10,645

1 概 要

長崎市内の学校施設は、その多くが高度経済成長期に建てられていることから老朽化が進んでおり、早急に学校毎の施設整備計画（改築又は改修計画）を策定する必要がある。

改築の必要性及びその優先順位を判断するため、昭和56年6月の建築基準法改正（新耐震基準）前の基準で建てられた学校を対象に、耐力度調査（コンクリート研り等調査、鉄筋腐食調査等）を実施し、本調査結果と平成19年度から平成21年度に実施した耐震診断結果により耐力度点数を算出することで、建物の健全性を測る判断指標とする。

2 事業内容及び事業費内訳

昭和56年6月の建築基準法改正（新耐震基準）前の基準で建てられた学校を調査対象とし、耐力度調査（コンクリート研り等調査、鉄筋腐食調査等）を平成30年度から令和2年度までの3か年で実施するもの。

事業費内訳

学校区分	費用区分	予算額（千円）	内 容
小学校12校	委託料	16,633	耐力度調査 RC造13棟、S造11棟 校 舎（RC造）754千円×12棟 屋内運動場（S造）621千円×11棟 屋内運動場（RC造）754千円×1棟
中学校8校	委託料	10,645	耐力度調査 RC造1.0棟、S造5棟 校 舎（RC造）754千円×9棟 屋内運動場（S造）621千円×5棟 屋内運動場（RC造）754千円×1棟

3 財源内訳

予算区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
小学校費	千円 16,633	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 16,633
中学校費	千円 10,645	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 10,645

4 調査対象校及び調査計画

平成30年度	小学校 (17校)	西坂小、土井首小、戸町小、朝日小、坂本小、西町小、西城山小、小ヶ倉小、高尾小、西北小、池島小、高島小、手熊小、福田小、日見小、為石小、古賀小
	中学校 (10校)	西浦上中、桜馬場中、梅香崎中、日見中、大浦中、池島中、岩屋中、高島中、琴海中、長崎中
平成31 (令和元) 年度(※)	小学校 (16校)	上長崎小、深堀小、大園小、愛宕小、矢上小、三重小、三原小、北陽小、戸石小、川原小、蚊焼小、茂木小、南小、滑石小、香焼小、式見小
	中学校 (9校)	緑が丘中、戸町中、小島中、三和中、丸尾中、滑石中、土井首中、茂木中、式見中
令和2年度	小学校 (12校)	稲佐小、女の都小、横尾小、小江原小、村松小、虹が丘小、西山台小、南陽小、城山小、銭座小、外海黒崎小、神浦小
	中学校 (8校)	西泊中、深堀中、福田中、日吉中、南中、横尾中、伊王島中、香焼中

※平成31（令和元）年度調査対象校については、調査実施中の学校を含む。

5 調査完了後の流れ

耐力度調査の結果から各校の老朽化の状況を的確に把握することができる。

この結果を活用し、改築・改修計画における優先順位付けや予算の平準化、トータルコストの縮減、適正配置計画等を加味した計画を令和2年度中に策定することで、将来にわたる効果的・効率的な学校整備を行っていく。

予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
276~ 277	10 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	2-5	教科書・指導書購入費	千円 207,576

1 概要

小学校では、令和2年度から新たに採択された教科書を使用しての学習が始まるため、教師が学習指導に必要な教師用教科書を整備する。

また、効果的、効率的な学習指導を行うために必要な指導書及び指導者用デジタル教科書を整備する。

2 事業内容

(1) 小学校の教科書改訂の伴い、学校規模に応じて、教師用教科書及び指導書を整備する。

(145,469千円)

学級種別	教師用教科書			指導書		
	通常学級	特別支援学級	学校教育課用	通常学級	特別支援学級	学校教育課用
金額(千円)	2,738	1,805	37	111,433	28,174	1,283
整備基準	○通常学級 ・全ての学級に教師用教科書を整備する。 1年生…144学級、2年生…116学級 3年生…109学級、4年生…104学級 5年生…112学級、6年生…117学級 全 702学級 合計 2,738千円			○通常学級 ・全ての学校(68校)に、1～6年生の「指導書フルセット」(※別紙参照)を1セットずつ整備する。 ・「指導書」については、学級数に応じて整備する。 合計 111,433千円		
	○特別支援学級 ・特別支援学級がある全ての学校(63校)に、全学年・全教科の教科書を整備する。 ・授業数の多い教科については、学級数に応じて整備する。 合計 1,805千円			○特別支援学級 ・特別支援学級の学級数に応じて、「指導書」を整備する。 合計 28,174千円		

※児童用教科書は、国から無償で支給される。

(2) 小学校の教科書改訂に伴い、デジタル教材が豊富に収録されており、教育的効果が期待できる次の3教科(学年ごと)の指導者用デジタル教科書の更新整備を行う。(62,107千円)

教科	国語	社会	理科
整備学年	1～6年生	5、6年生 ^{※2}	3～6年生
金額(千円)	30,698	9,238	22,171
整備校数	68校	68校	68校

※1 デジタル教科書は校内フリーライセンスとなるので、1校当たりの価格となる。

※2 社会3・4年生は、地域教材が主となるためデジタル教科書の提供がない。

※3 その他の教科については、教科書をスキャンすることで紙面の拡大提示等が可能となる、電子書籍作成ソフト(H27整備)を利用して対応する。

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 207,576	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 207,576

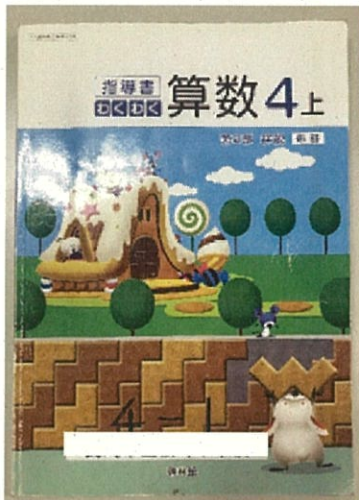
「指導書フルセット」について（参考資料）

「指導書フルセット」とは？

教科によって、内容は異なるが、①「指導書」②「指導資料集」③「教材資料集」④「板書計画、CD」などが1つのセットとなったものこと。

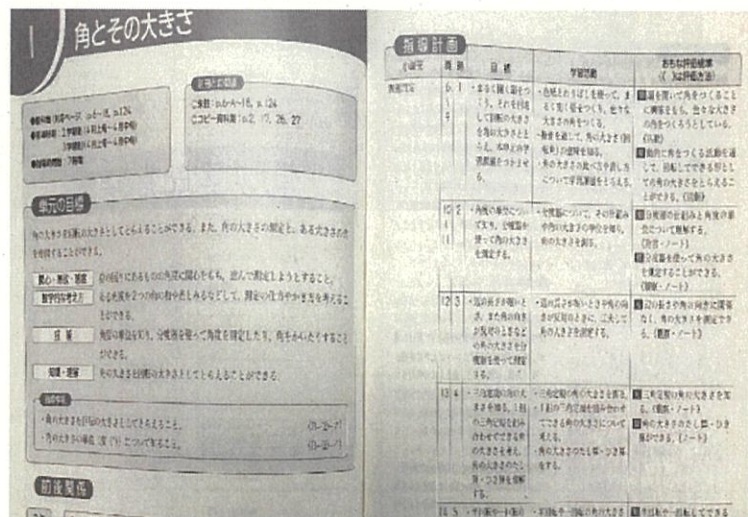
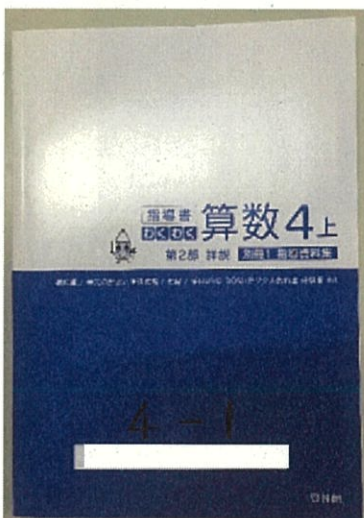
【現在使用されている算数科（啓林館）の例】

① 指導書



単元の目標や単元のポイントが掲載されている。また、毎時間の展開、発問例が掲載されており、児童の実態に応じて授業展開を工夫することができる。

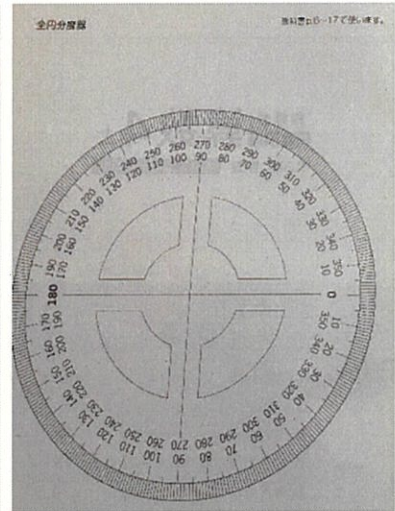
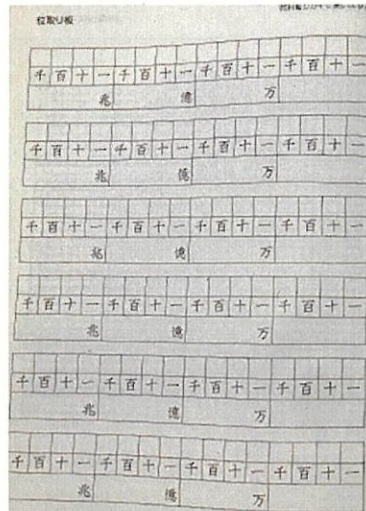
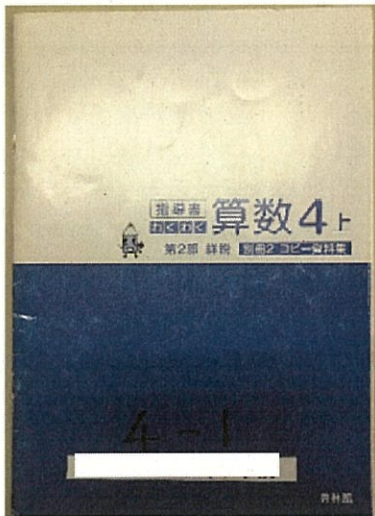
② 指導資料集



単元の概説、これまでの学習した系統、評価計画などが掲載されている。また、出題されている問題の意図、支援が必要な児童への配慮などが掲載されている。

さらに、単元全体の展開例が示されているため、活用することにより、効果的に学習指導内容ができる。

③ 教材資料集



授業を行う上で大切な教材についての資料や、学習した内容を振り返ることができる確認プリントが掲載されている。教科書の問題に即した図や表が活用できるため、学習した内容の理解の手助けとなる。また、確認プリントは、児童が自ら評価するだけでなく、教師側の指導の評価につながる。

④ 板書計画、CD など



デジタル教科書について

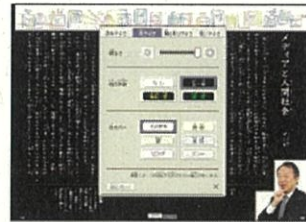
国語

- 1 豊富な資料と教材
教材文の作者と出会う動画 他



インタビュー動画「筆者 池上彰さん」

- 2 教科書本文の拡大提示
読みやすい大きさに自動カスタマイズ

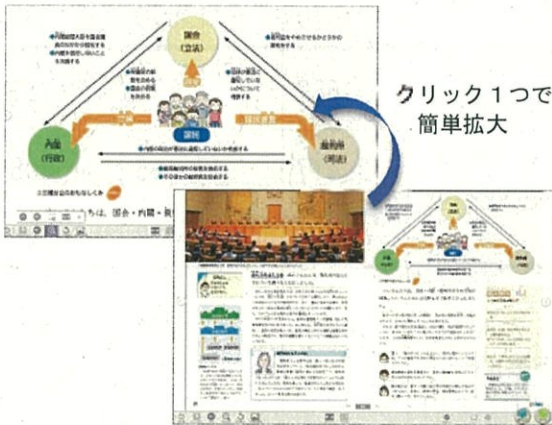


- ・全ての漢字にルビ
- ・白黒反転
- ・文字色、背景色の指定
- ・音声読み上げ

- 3 「特別な支援を要する児童」への配慮
誰にでも優しいユニバーサルデザイン

社会

- 1 「全ての写真・図版」の一発拡大
授業の流れを止めずに資料解説



クリック1つで
簡単拡大

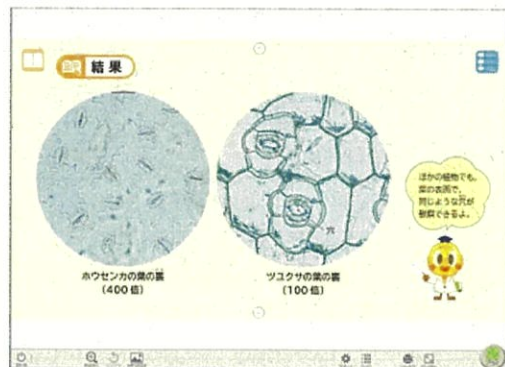
- 2 豊富な動画・音声資料
動くことで興味・関心を高める



6年「今の祝祭祭のようす」

理科

「画像・映像資料」を豊富に収録



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
276~ 277	10 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	1-1	要保護及び準要保護 児童就学援助費	千円 118,360
280~ 281	10 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	1-1	要保護及び準要保護 生徒就学援助費	千円 150,544

1 概 要

就学援助は、学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に学用品等を援助し、義務教育の円滑な実施を図るものであり、このうち準要保護者の支給単価については、要保護者に対する支給単価を準用している。

令和2年度に国が要保護者の支給単価の増額を予定しており、長崎市としても準要保護者の負担軽減を図るため、学用品費等の支給単価の増額を行う。

2 事業内容

(1) 援助内容

援助費目		支給単価		小学校		中学校	
				人数	予算額	人数	予算額
要 保 護	修学旅行費	実費額		人	千円	人	千円
				70	1,570	92	5,044
準 要 保 護	学用品費 通学用品費	1年生	小 @11,630円 中 @22,730円	682	7,932	731	16,616
		1年生以外	小 @13,900円 中 @25,000円	3,417	47,496	1,395	34,875
		小計		4,099	55,428	2,126	51,491
	新入学用品費 (入学準備金)	2年度入学	小 @ 460円 中 @ 2,600円 (単価差額分)	616	284	660	1,716
			小 @51,060円 中 @60,000円 (入学後支給)	154	7,863	71	4,260
		3年度入学	小 @51,060円 中 @60,000円	635	32,423	714	42,840
	通学費	実費額		59	2,656	57	5,429
	修学旅行費	実費額		714	16,012	706	38,708
	体育実技用具費	実費額		—	—	221	796
	校外活動費	実費額 (交通費・見学科)		2,612	2,124	351	260
計			4,099	116,790	2,126	145,500	
合計			4,169	118,360	2,218	150,544	

(2) 準要保護認定率の推移

(単位：%)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
小学校	21.6	21.1	21.1	20.7	20.9
中学校	22.6	22.6	21.7	21.3	20.9
全 体	22.0	21.6	21.3	20.9	20.9

3 事業の拡大内容

(1) 支給単価の改定

ア 支給単価 (予算額)

区 分			変更前	変更後	差引 (増額)
学用品費・ 通学用品費	小学校	1 年生	11,420 円	11,630 円	210 円
		1 年生以外	13,650 円	13,900 円	250 円
	中学校	1 年生	22,320 円	22,730 円	410 円
		1 年生以外	24,550 円	25,000 円	450 円
新入学用品費	小学校	1 年生	50,600 円	51,060 円	460 円
	中学校	1 年生	57,400 円	60,000 円	2,600 円

イ 支給単価の増額に伴う必要額

区 分			増額単価	対象者数	必要額
学用品費・ 通学用品費	小学校	1 年生	210 円	682 人	143,220 円
		1 年生以外	250 円	3,417 人	854,250 円
	中学校	1 年生	410 円	731 人	299,710 円
		1 年生以外	450 円	1,395 人	627,750 円
新入学用品費 ※	小学校	1 年生	460 円	1,405 人	646,300 円
	中学校	1 年生	2,600 円	1,445 人	3,757,000 円
計					6,328,230 円

※新入学用品費は入学前支給者への差額支給分を含む。

4 財源内訳

事業費		財 源 内 訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
小	千円 118,360	千円 785	千円 -	千円 -	千円 -	千円 117,575
中	千円 150,544	千円 2,522	千円 -	千円 -	千円 -	千円 148,022

※ 要保護児童生徒援助費補助金 (補助率 1/2)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
276～ 277	10 教育費	2 小学校費	2 教育振興費	1-2	特別支援教育 就学奨励費	千円 4, 6 6 7
280～ 281	10 教育費	3 中学校費	2 教育振興費	1-2	特別支援教育 就学奨励費	千円 2, 3 6 3

1 概 要

特別支援教育就学奨励費は、「特別支援学校への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級の児童生徒の保護者に対して経済的負担を軽減するために、その負担能力（世帯の収入）に応じて、就学に要する所要の経費を支給することで、特別支援教育の普及奨励を図るものである。

令和2年度に国が支給限度額の増額を予定しており、長崎市としても保護者の負担軽減を図るため、国と同額を設定する。

2 事業内容

(1) 援助内容（実費額の2分の1を支給（通学費は全額））

援助費目	支給限度額	小学校		中学校	
		人数	予算額	人数	予算額
学用品費	小 @ 5,820 円	人	千円	人	千円
通学用品費	中 @11,370 円	305	1,776	54	614
新入学用品費 (入学準備金)	小 @25,555 円 中 @28,990 円	50	1,278	22	638
通学費	運賃実費額（バス等） ガソリン代相当額	89	1,055	25	668
通学付添費	運賃実費額の1/2 (自家用車送迎を除く)	5	73	-	-
修学旅行費	小 @ 11,012 円 中 @ 26,028 円	36	397	14	365
校外活動費	○日帰り 小 @540 円 中 @648 円	81	88	54	35
	○宿泊 小@1,655 円 中@3,200 円				
体育実技用具費	中@1,972 円	-	-	22	43
合 計		305	4,667	54	2,363

(2) 支給者数の推移

(単位：人)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	179	199	207	237	251
中学校	52	50	48	46	54
合 計	231	249	255	283	305

3 事業の拡大内容

(1) 支給限度額の改定

ア 支給限度額（予算額）

区 分		変更前	変更後	差引（増額）
学用品費・ 通学用品費	小学校	5,710 円	5,820 円	110 円
	中学校	11,160 円	11,370 円	210 円
新入学用品費	小学校 1 年生	25,300 円	25,555 円	255 円
	中学校 1 年生	28,700 円	28,990 円	290 円

イ 支給限度額増額に伴う必要額

区 分		増額単価	対象者数	必要額
学用品費・ 通学用品費	小学校	110 円	305 人	33,550 円
	中学校	210 円	54 人	11,340 円
新入学用品費	小学校 1 年生	255 円	50 人	12,750 円
	中学校 1 年生	290 円	22 人	6,380 円
計				64,020 円

4 財源内訳

事業費		財 源 内 訳				
		国庫支出金※	県支出金	地方債	その他	一般財源
小	千円 4,667	千円 2,263	千円 -	千円 -	千円 -	千円 2,404
中	千円 2,363	千円 1,152	千円 -	千円 -	千円 -	千円 1,211

※ 特別支援教育就学奨励費補助金（補助率 1/2）

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278～ 279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】小学校整備事業費 伊良林小校舎等改築	千円 97,700

1 概 要

老朽化した伊良林小学校の校舎等を改築することにより、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

平成31年1月から南側校舎は供用開始しており、また、平成30年度から北側校舎棟の建設工事に着手し、令和2年8月からの供用開始を目指す。令和2年度は、運動場等整備工事及び体育倉庫・屋外便所の建設工事等を行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和元年5月1日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 515人 学級数 22クラス（特別支援6クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計（通常学級）【長崎県学級編成基準】

(R1.5.1現在)

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	484人	462人	435人	418人	512人	495人	501人
学級数	16学級	16学級	15学級	15学級	17学級	18学級	18学級

※ 特別支援学級を除く（児童数・学級数）

ウ 建物概要

建物区分	南側校舎棟	北側校舎棟
構造・規模	鉄筋コンクリート造・3階建て	鉄筋コンクリート造・3階建て
延べ床面積	2,836.69㎡（建築基準法）	4,878.58㎡（建築基準法）
施設構成	普通教室 1室 特別教室 4室 管理諸室 3室 屋内運動場 〔バスケットコート、バレーコート 2面〕 〔バドミントンコート 3面〕 プール（25m×5コース） 放課後児童クラブ	普通教室 16室（特支2室含） 特別教室 12室 管理諸室 12室 エレベーター 1基（11人乗り）
	太陽光発電設備 雨水利用システム	
施工時期	平成29～30年度	平成30～令和2年度

(2) 事業費内訳

区 分	予算額 (千円)	内 容
体育倉庫・屋外便所建設工事	35,763	体育倉庫・屋外便所の建設
運動場等整備工事	50,519	運動場等整備（フェンス、外構等） （前金払相当40%）
事務費	118	学校建設等に係る事務費
小 計（継続費）	86,400	
仮設校舎（リース）	11,300	仮設校舎の賃貸借費用
合 計	97,700	

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
97,700	5,359	—	69,000	—	23,341

※1 学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率：75% 交付税措置率：—%）

4 全体スケジュール（予定を含む）

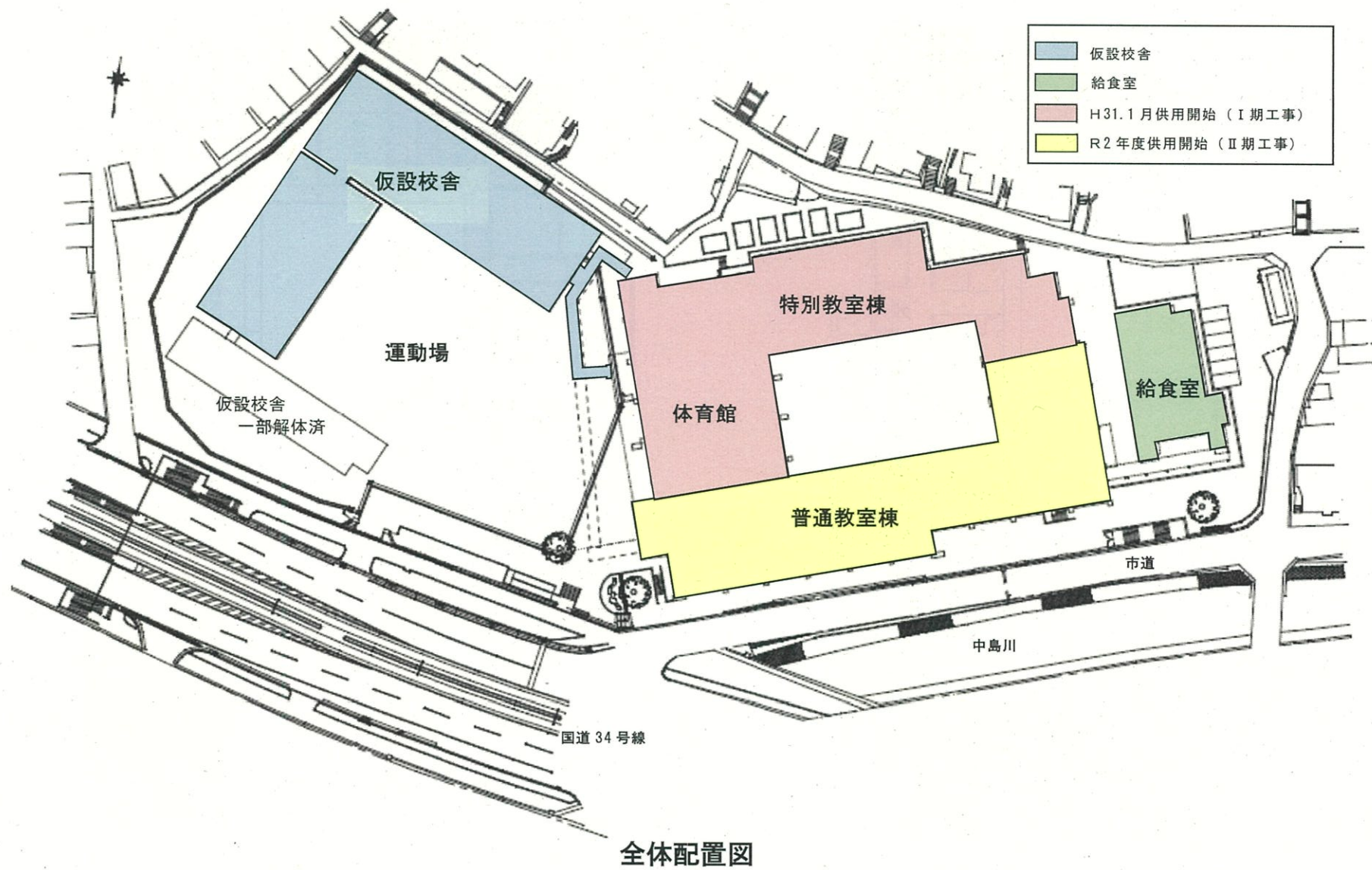
平成27年度	基本設計、耐力度調査、土質調査
平成28年度	実施設計、法定外公共物廃止登記業務委託、 体育倉庫・屋外便所解体等工事、仮設校舎建設工事
平成29年度	既存校舎等解体工事（Ⅰ期）
平成29年度 ～平成30年度	給食室移設工事、特別教室棟・屋内運動場・プール改築工事（Ⅰ期） 特別教室棟・屋内運動場・プール供用開始（H31.1月）
平成30年度 ～平成31年度	既存校舎等解体工事（Ⅱ期）
令和元年度	運動場設計
平成30年度 ～令和2年度	普通教室棟改築工事（Ⅱ期） 普通教室棟供用開始（R2.8月予定）
令和元年度 ～令和2年度	太陽光発電設備設置工事
令和2年度	体育倉庫・屋外便所整備工事
令和2年度 ～令和3年度	運動場等整備工事 運動場等供用開始（R3.9月予定）

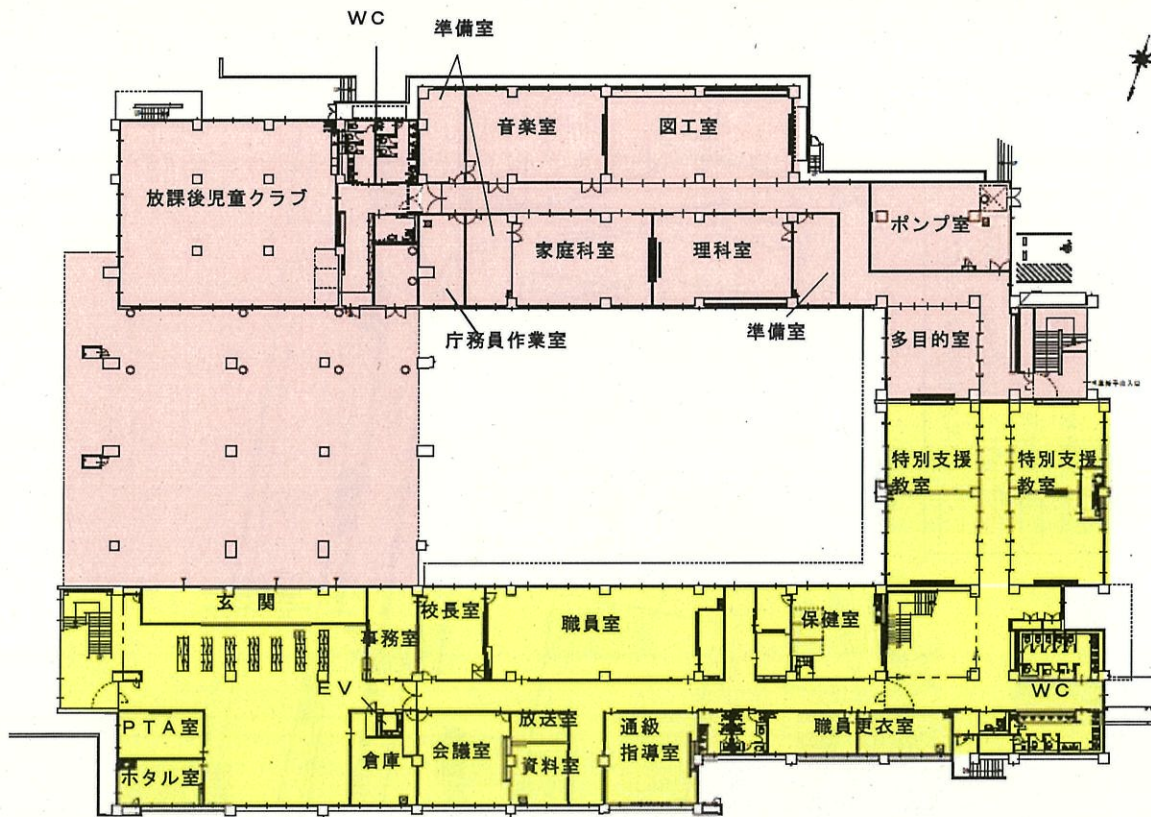
5 伊良林小学校改築工事スケジュール

	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度																		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
仮設校舎				入札 実施設計 礼他			引越 建設工事																														
南側校舎及びブー ル解体										入札 解体工事 (7月)																											
給食室移設										移設工事 (9.5月)																											
南側校舎・体育館 新築										入札 仮契約																											
北側校舎・体育館 解体													入札 解体工事 (6月)																								
北側校舎新築																																					
太陽光発電設備設 置																																					
体育倉庫・屋外便 所新築																																					
グラウンド等整備																																					
基本・実施設計																																					
耐力度調査																																					
土質調査																																					

継続費となる事業

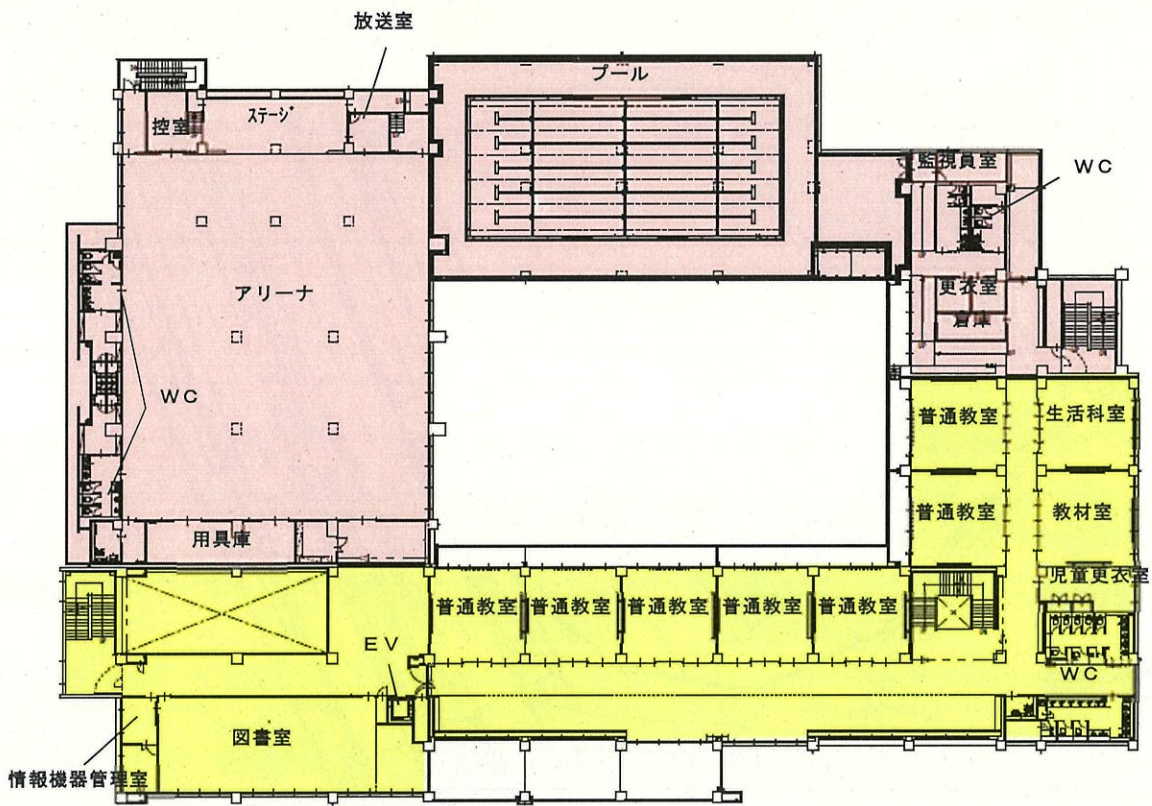
6 新設建物等の施設配置



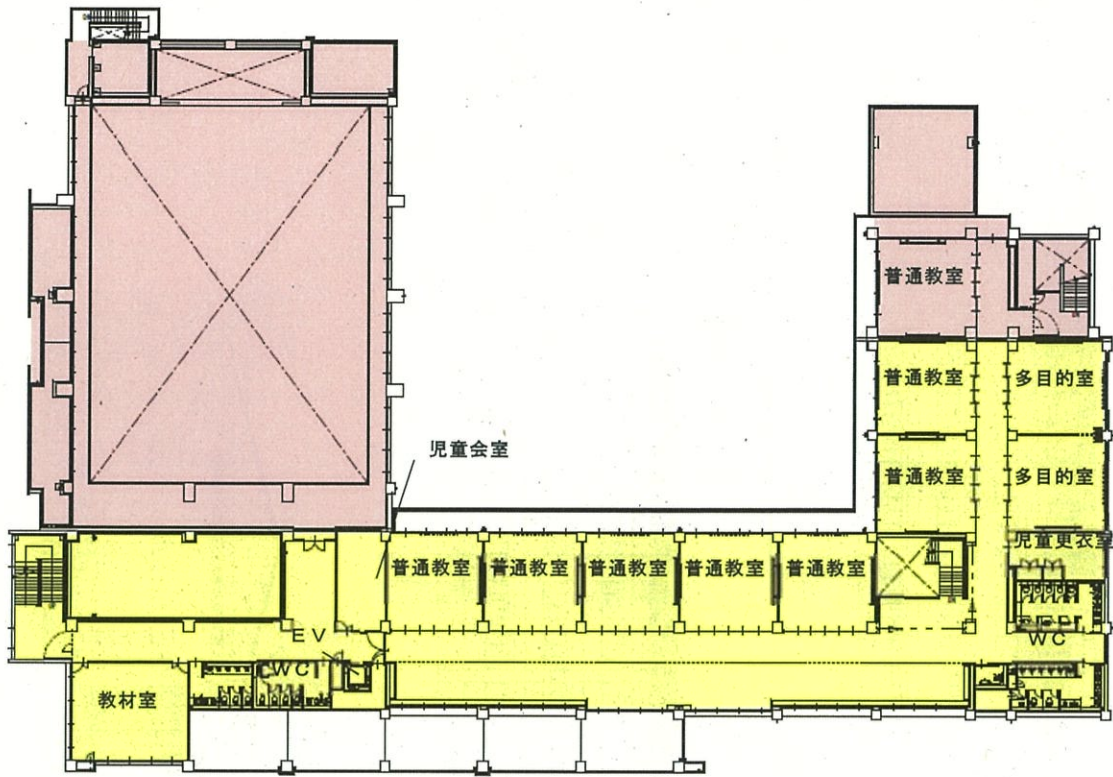


新校舎 1階平面図

H30年度供用開始（Ⅰ工区）
 R2年度供用開始（Ⅱ工区）

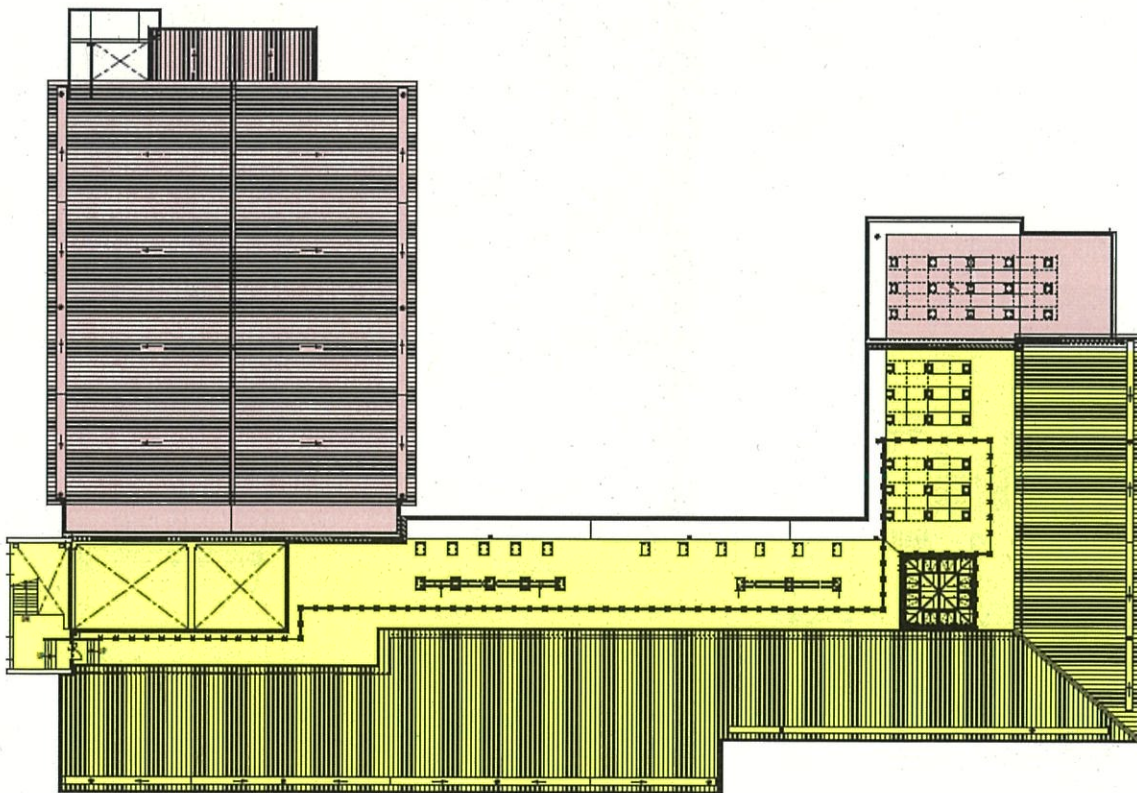


新校舎 2階平面図



新校舎 3階平面図

	H30年度供用開始 (I工区)
	R2年度供用開始 (II工区)



新校舎 屋上平面図



東側立面图



西側立面图



北側立面图



南側立面图



完成イメージ

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278~ 279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	1-2	【補助】小学校整備事業費 大規模改造	千円 122,900
280~ 281	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	1-1	【補助】中学校整備事業費 大規模改造	千円 159,800

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置等を行うことにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、外壁改修にあたり、外壁の仕上塗材にアスベストが検出された学校については、工法に応じた適切な飛散防止措置を講ずることとする。

2 事業内容

学校区分	学校名	事業費	事業内容
小学校	稲佐小学校(※)	74,600千円	校舎の外壁改修
	稲佐小学校(※)	26,800千円	屋内運動場の外壁改修
	三重小学校	21,100千円	屋外トイレの設置
	事務費	400千円	—
計		122,900千円	—
中学校	戸町中学校(※)	74,600千円	校舎の外壁改修
	小江原中学校(※)	84,709千円	校舎の外壁改修
	事務費	491千円	—
計		159,800千円	—
小中合計		282,700千円	—

(※)の学校については、アスベスト除去費用を含む。

3 財源内訳

事業費		財源内訳				
		国庫支出金※1	県支出金	地方債※2	その他※3	一般財源
小学校	千円 122,900	千円 41,232	千円 -	千円 61,200	千円 1	千円 20,467
中学校	千円 159,800	千円 53,593	千円 -	千円 79,600	千円 1	千円 26,606
合計	千円 282,700	千円 94,825	千円 -	千円 140,800	千円 2	千円 47,073

※1 学校施設環境改善交付金（補助率：1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率75%、交付税措置率30%）

※3 保険料個人負担金

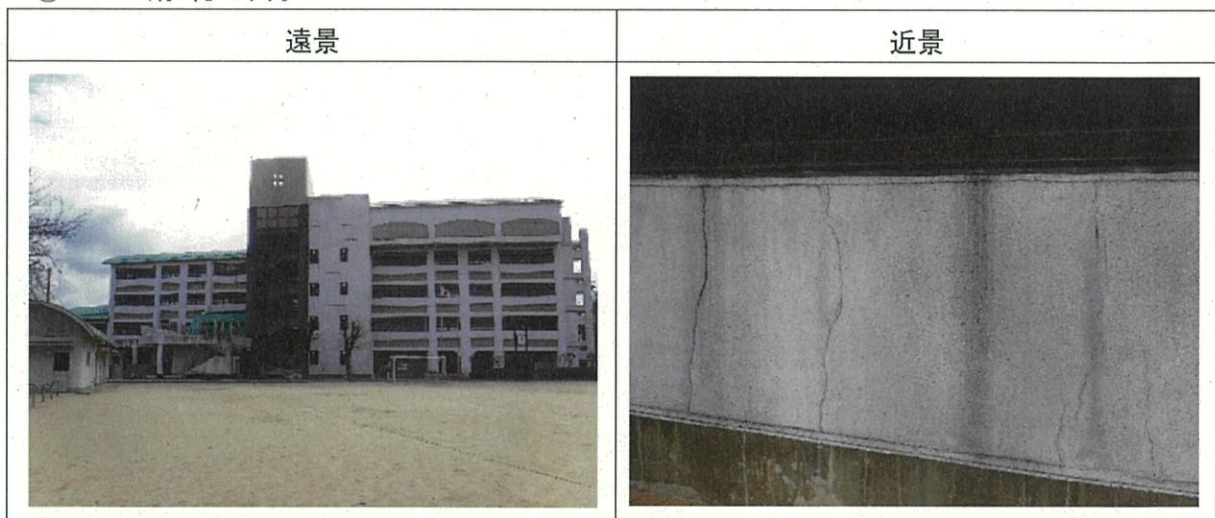
4 その他(現況写真等)

(1) 稲佐小学校校舎外壁改修工事

① 建築年月：平成4年8月(27年経過)

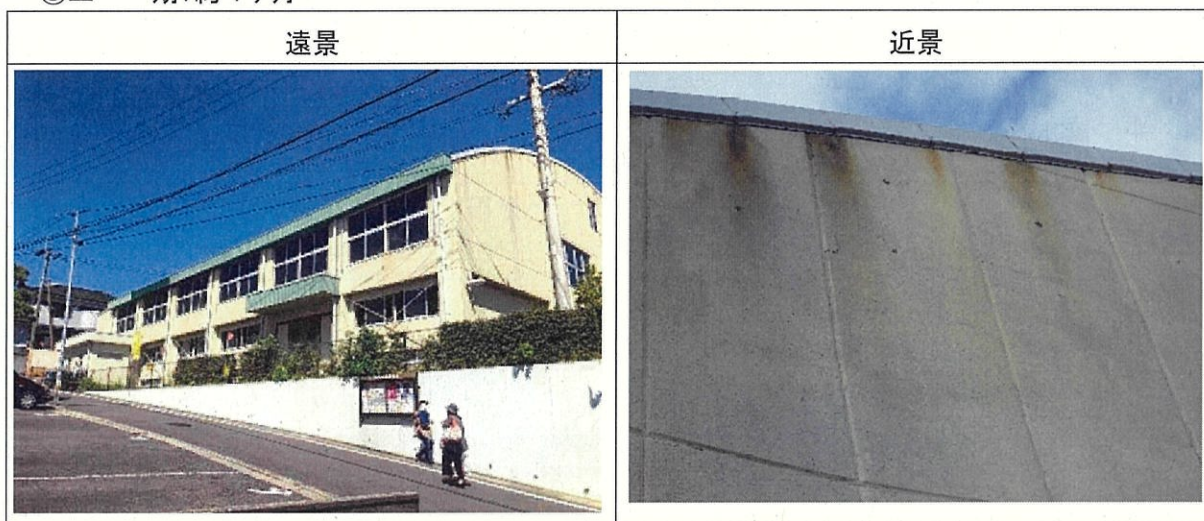
② 現況：外壁に亀裂が発生している。

③ 工期：約6ヶ月



(2) 稲佐小学校屋内運動場外壁改修工事

- ① 建築年月: 昭和 55 年 3 月 (39 年経過)
- ② 現況: 老朽化により外壁に劣化が生じている。
- ③ 工期: 約 4 ヶ月



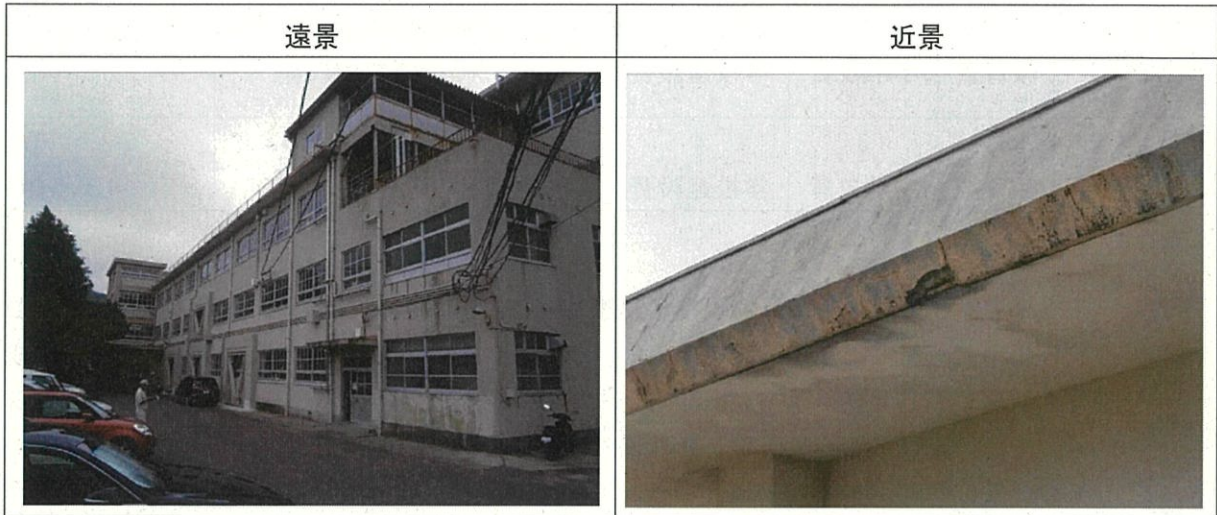
(3) 三重小学校屋外トイレ設置工事

- ① 建築年月: 昭和 62 年 3 月 (32 年経過)
- ② 現況: 既存の屋外トイレは男女共用となっており、教育上・防犯上ともに支障があるため、男女別トイレへの建替えを行うもの。
- ③ 工期: 約 4 ヶ月



(4)戸町中学校校舎外壁改修工事

- ①建築年月:昭和 36 年 3 月(58 年経過)
- ②現 況:老朽化により外壁・庇に亀裂が生じている。
- ③工 期:約 6 ヶ月



(5)小江原中学校校舎外壁改修工事

- ①建築年月:昭和 58 年 3 月(36 年経過)
- ②現 況:老朽化により外壁・庇に亀裂が生じている。
- ③工 期:約 7 ヶ月



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278～ 279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	1-3	【補助】小学校整備事業費 ブロック塀等改修	千円 131,100
280～ 281	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	1-2	【補助】中学校整備事業費 ブロック塀等改修	千円 43,400

1 概 要

市立小中学校に設置している現行の建築基準法に不適合なブロック塀及びレンガ塀について、平成31年2月議会に補正予算を計上し、フェンスへの取替えなどを行うこととし、平成31年3月から工事の発注作業を進め順次発注しているが、隣接する民地所有者との調整やフェンスの取替えに支障となる倉庫等があり工法検討に時間を要した。

その結果、発注が11月以降となった工事について、業者の人手不足やフェンスの納品が遅れる等が原因で、入札不調となり未契約となっている。

このことについて、児童生徒の安全安心な学校環境を整備するため、改めて当初予算に計上し、引き続き改修を行う。

2 事業内容

学校敷地内に設置しているブロック塀及びレンガ塀で基礎の設置や鉄筋の配筋が建築基準法に不適合となるものを、児童生徒等の安全性を確保するためにフェンスへの取替えや改修を行う。

3 事業の内訳

(1) 小学校施設の事業内訳

事業予定校 21校

区 分	事業費	内 訳
工事請負費	131,100千円	フェンス取替・改修 51か所 (目隠しフェンス 1,318m、金網フェンス 1,203m)
合 計	131,100千円	

(2) 中学校施設の事業内訳

事業予定校 7校

区 分	事業費	内 訳
工事請負費	43,400千円	フェンス取替・改修 10か所 (目隠しフェンス 139m、金網フェンス 803m)
合 計	43,400千円	

(3) 小中合計 28校

区 分	事業費	内 訳
合 計	174,500千円	フェンス取替・改修 61か所 (目隠しフェンス 1,457m、金網フェンス 2,006m)

4 財源内訳

(1)小中学校

区分	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※1	県支出金	地方債 ※2	その他	一般財源
小学校費	千円 131,100	千円 22,025	千円 -	千円 81,700	千円 -	千円 27,375
中学校費	千円 43,400	千円 10,598	千円 -	千円 24,600	千円 -	千円 8,202
合 計	千円 174,500	千円 32,623	千円 -	千円 106,300	千円 -	千円 35,577

※1 平成30年度1次補正ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金（補助率：補助基準額の1/3）

※2 学校教育施設等整備事業債（充当率 75% 交付税措置率1%）

(参 考)

1 ブロック塀改修の対応経過

(1)平成30年6月 大阪府北部で発生した地震により、小学校のブロック塀が倒壊し、通学途中の児童が死亡した事故の発生

(2)平成30年9月 平成30年7月の目視点検により、現行の建築基準法に不適合である塀を改修する予算、目視点検では、現行の建築基準法に適合するか判断できない塀について、基礎や鉄筋が適切に入っているかブロック塀の内部調査に係る予算を計上 予算額：103,647千円 内)調査費12,685千円

(3)平成31年2月 内部調査の結果、全ての塀が現行の建築基準法に不適合であったため、ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金を活用し、ブロック塀の改修予算を計上 予算額：627,700千円

(4)平成31年3月 建築課など関係課と、施工方法や役割分担などの協議を行い、現地調査を行った上で、設計を行い改修の準備が整ったところから、令和元年8月から順次発注

2 ブロック塀等改修の入札の状況

開札日	入札 件数	落札 件数	不落札 件数	未契約の学校数 と塀の数
(1) 8月16日から11月6日入札 (5回)	7	7	0	
(2) 11月15日から11月29日入札 (3回)	30	13	17	42校 134か所

(入札不落の理由)

11月15日以降、入札参加申請はあったものの、応札参加がなく、申請業者に入札参加をしなかった理由を確認したところ、多くは、技術者及び作業員の確保が困難であるということであった。

3 不落分の対応と結果

不落札となった工事について、ブロック塀の延長が短いものは、修繕発注することとした上で、随意契約により工事発注（12月下旬）したが、主にフェンスの納期が間に合わないとの理由により、発注した塀の数に対し、4割程度が未契約となった。

区分	上記2の 未契約数 (塀の数)	契約件数 (塀の数)	未契約数 (令和2年度当初予算計上)
箇所数	134 か所	73 か所	61 か所

4 市内小中学校に設置しているブロック塀の改修状況

() 改修対象に対する割合

	改修対象		改修の状況（保留を除く）				※ 改修保留 のブロッ ク塀
	学校数	ブロッ ク 塀の数	令和元年度改修完了分		令和2年度対応分		
			学校数	ブロッ ク 塀数	学校数	ブロッ ク 塀数	
合計	79 校	259 か所	51 校 (65%)	191 か所 (74%)	28 校 (35%)	61 か所 (23%)	7 か所 (3%)
内) 小学校	51 校	192 か所	30 校	136 か所	21 校	51 か所	5 か所
内) 中学校	28 校	67 か所	21 校	55 か所	7 校	10 か所	2 か所

※ 改修保留のブロック塀は、民地との境界にあり、ブロック塀が建物の一部に取り込まれているなど調整が必要な塀であり、調整できしだい順次改修を行う。

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278～ 279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-1	【単独】小学校整備事業費 仁田佐古小校舎等建設	千円 48,000

1 概 要

現在の旧佐古小学校敷地に仁田佐古小学校の新校舎等を建設し、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

令和2年度は、令和元年度から着手したグラウンド整備工事を引き続き行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和元年5月1日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 290人 学級数 15クラス（特別支援3クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計（通常学級）【長崎県学級編成基準】（R1.5.1現在）

（学年進行による推計）

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	275人	286人	301人	305人	342人	358人	384人
学級数	12学級	12学級	13学級	12学級	13学級	14学級	14学級

(2) 事業費内訳

区 分	予算額（千円）	内 容
グラウンド整備	48,000	完成払相当分（60%）を計上
合 計	48,000	

3 スケジュール（予定を含む）

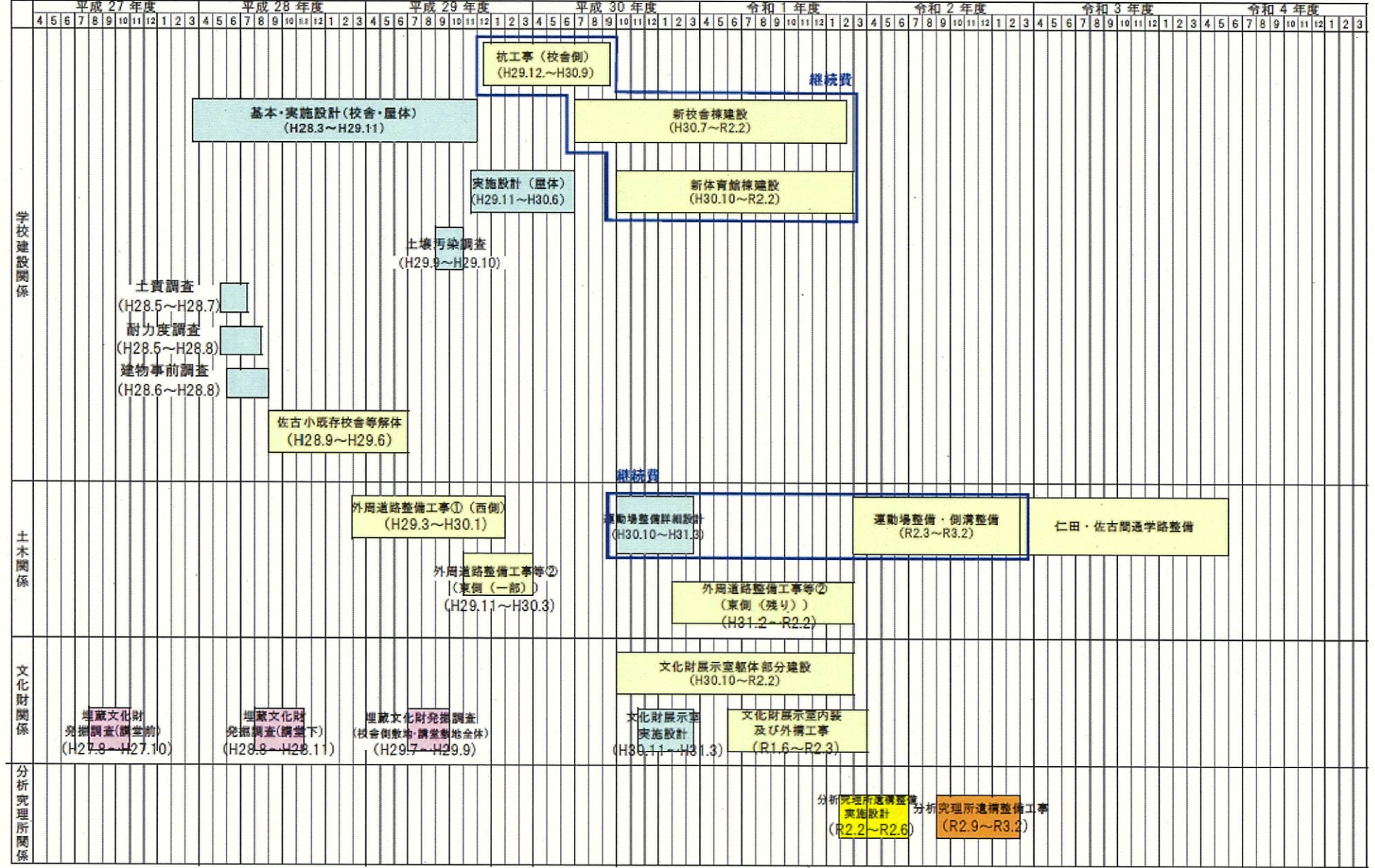
平成27～29年度	基本・実施設計
平成28年度	土質調査、耐力度調査、建物事前調査、用地登記測量
平成28～29年度	旧佐古小学校校舎等解体工事
平成29～30年度	新校舎棟杭工事
平成30～31年度	新校舎・体育館建設
令和2年2月～	校舎棟供用開始
令和2年3月～	屋内運動場棟供用開始
令和2年3月～令和3年2月	グラウンド整備等
令和3年3月～	グラウンド供用開始

4 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
48,000	—	—	36,000	—	12,000

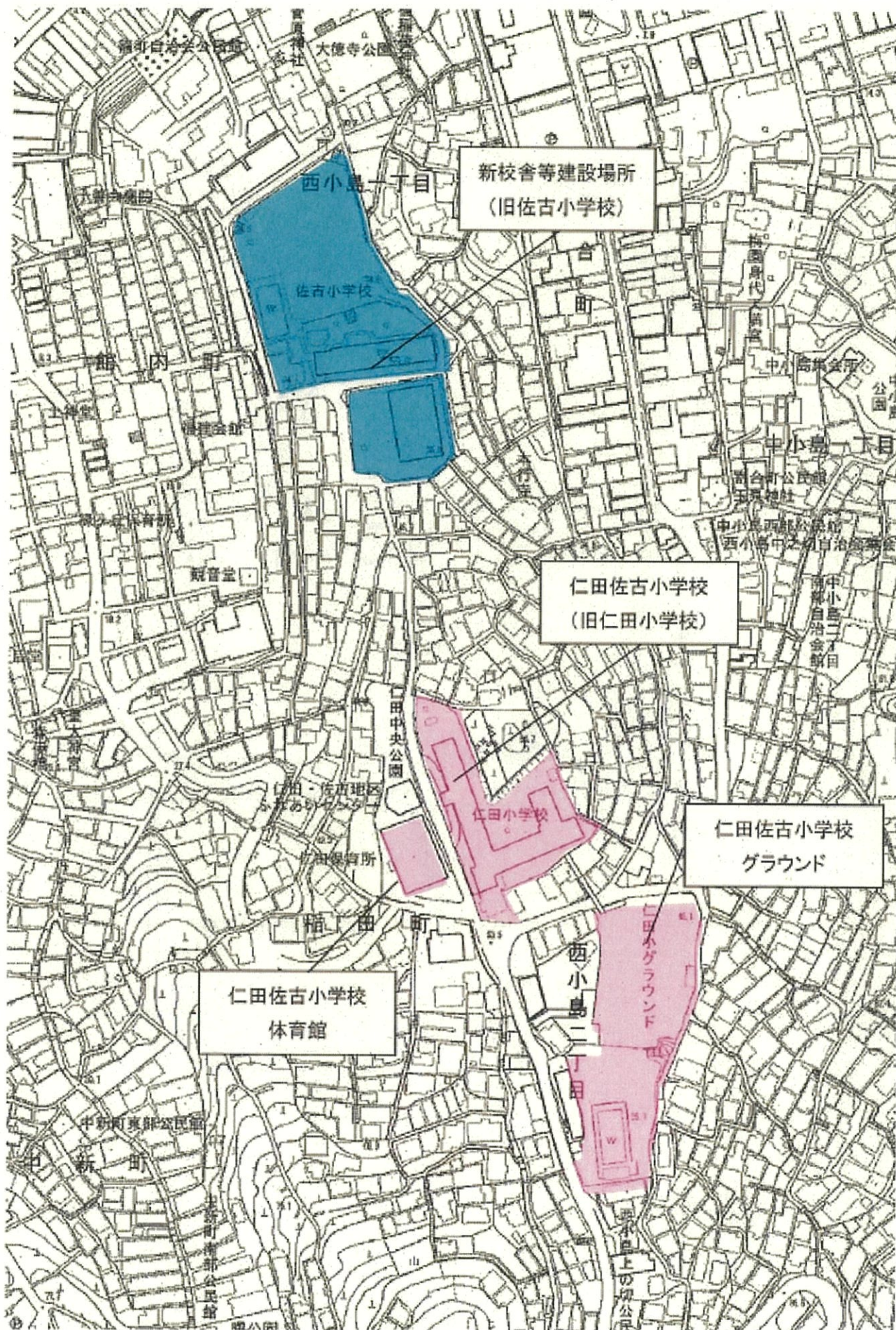
※ 学校教育施設等整備事業債（充当率：75% 交付税措置率 100%）

○仁田佐古小校舎等建設スケジュール



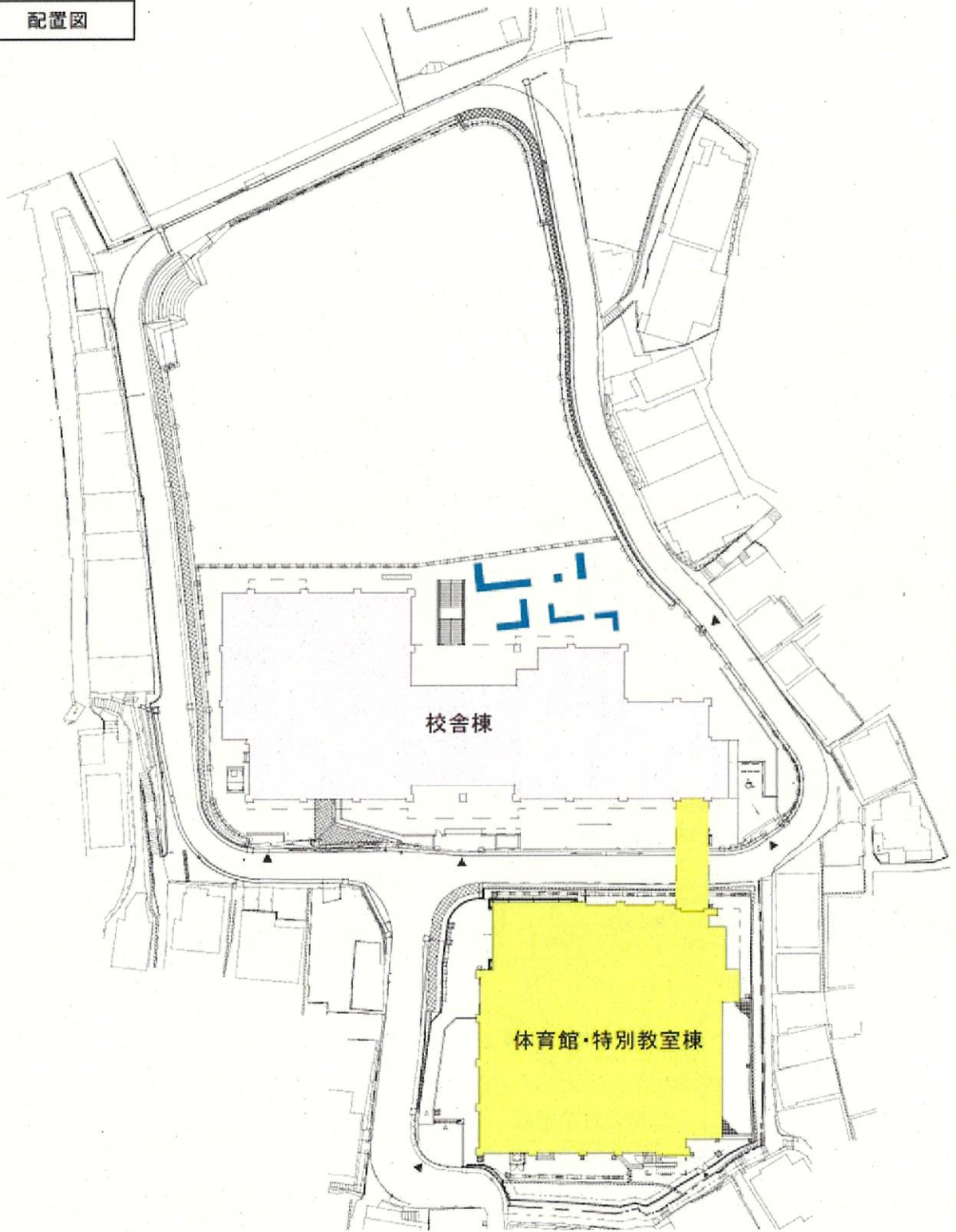
※凡例 □ : 業務委託 □ : 工事 □ : 文化財調査

6 仁田佐古小学校位置図



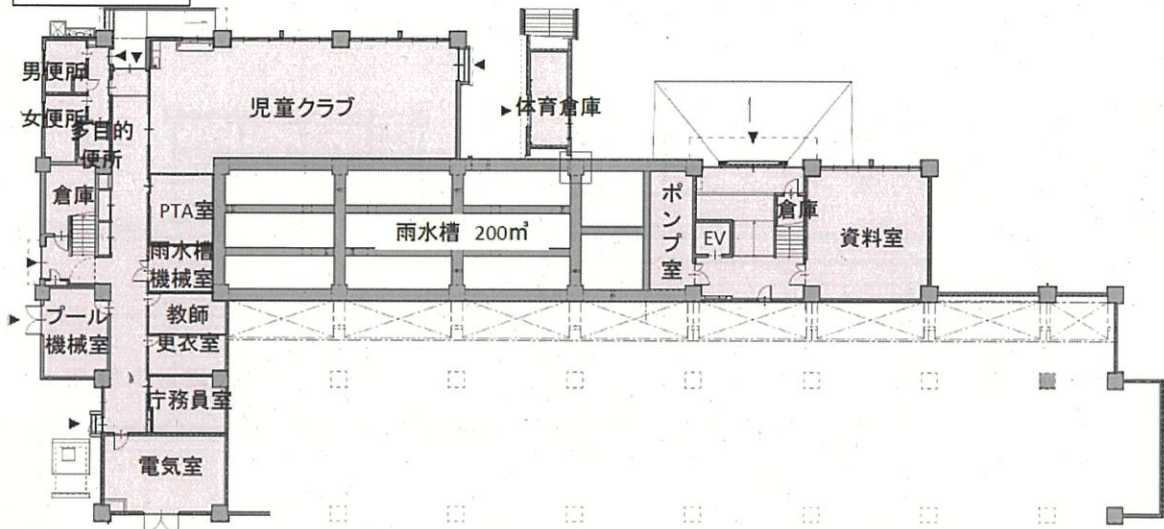
7 新設建物等の施設配置

配置図

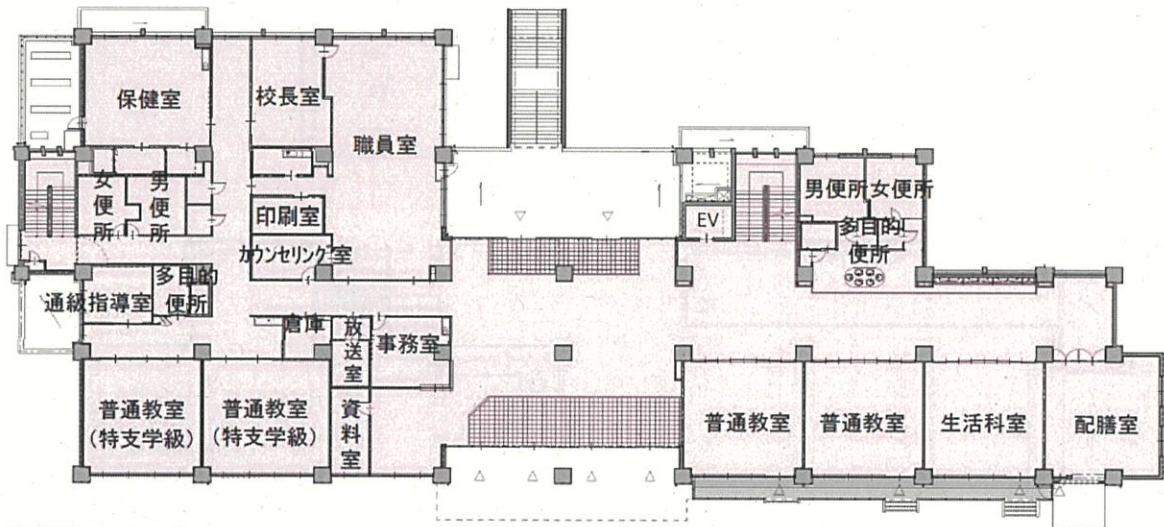


- 校舎棟
- 屋体棟

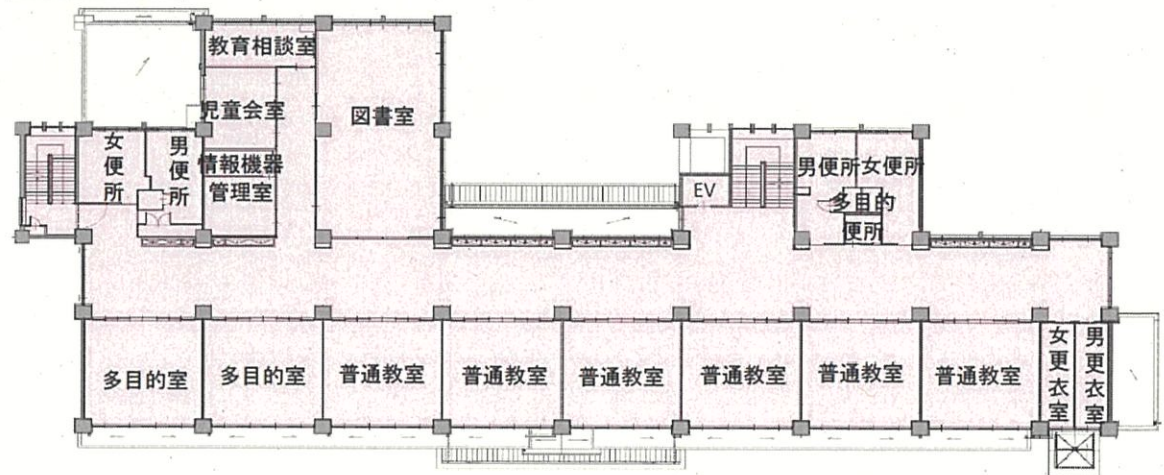
1階 平面図



2階 平面図

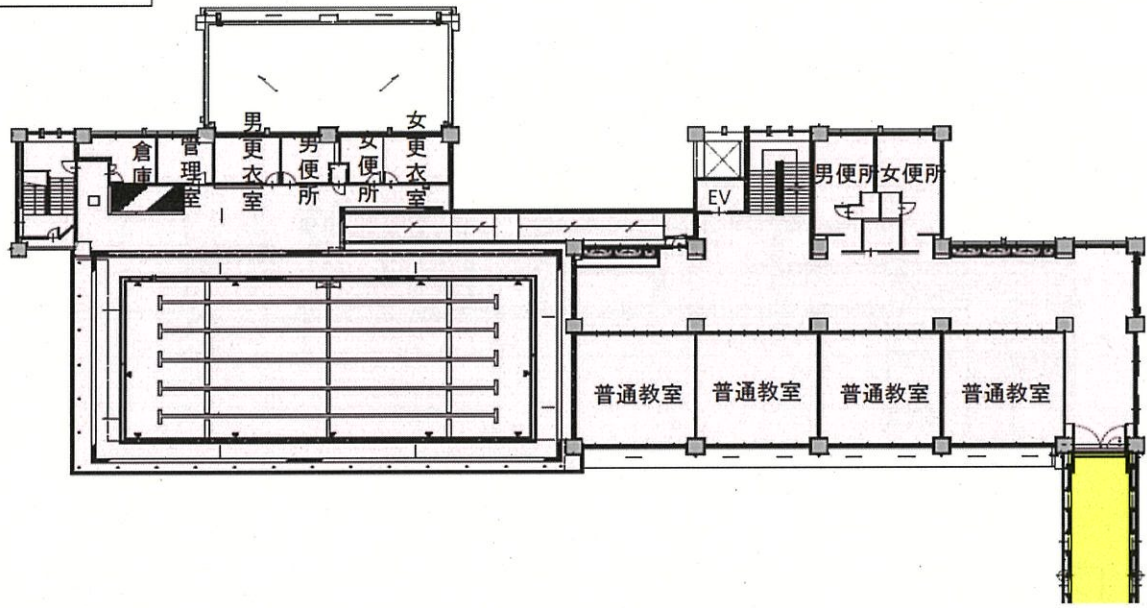


3階 平面図

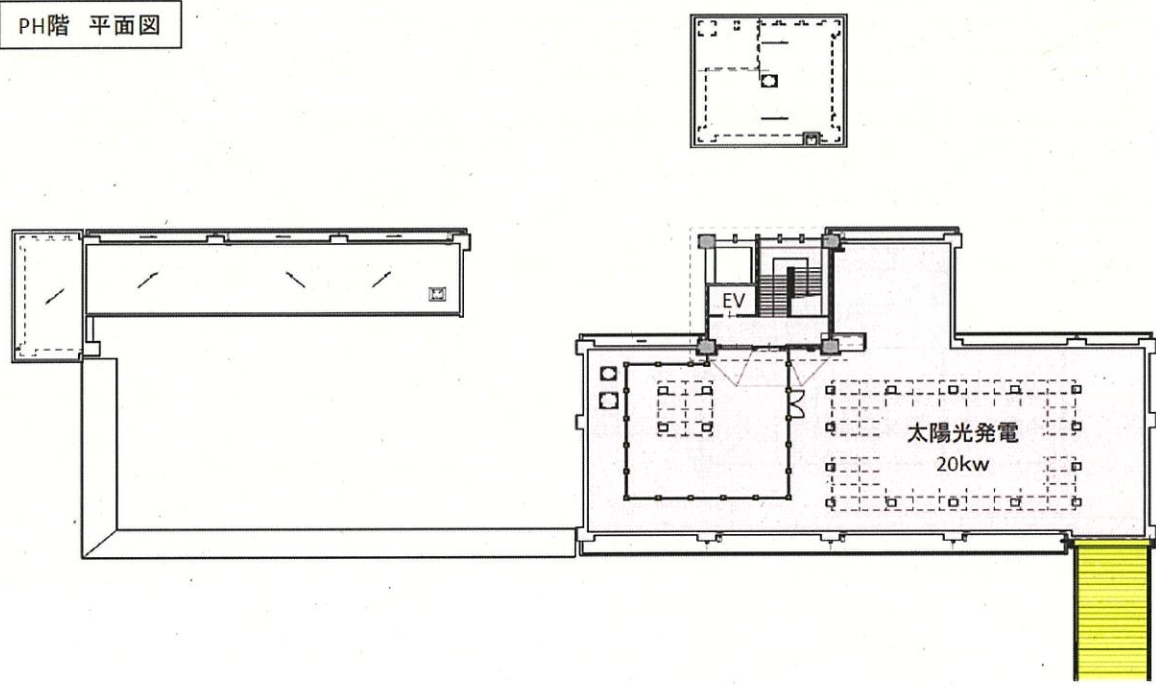


- 校舎棟
- 屋体棟

4階 平面図

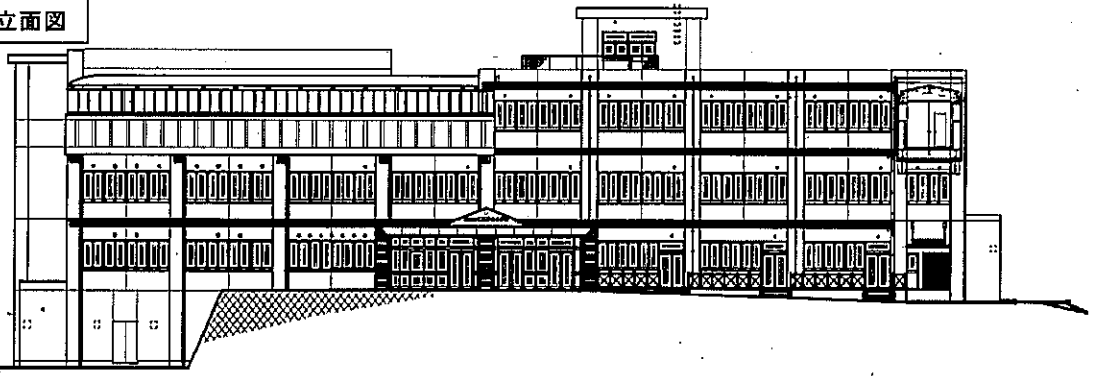


PH階 平面図

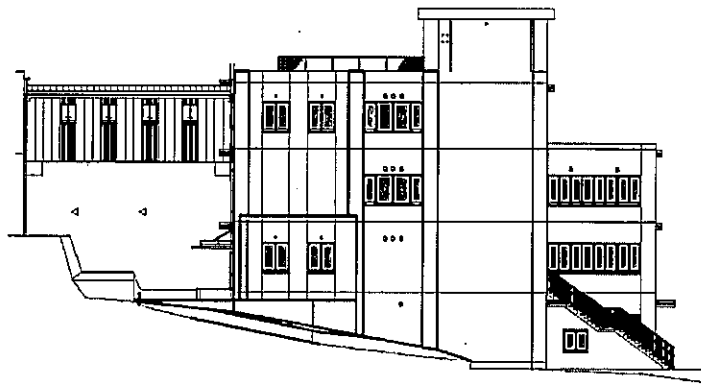


- 校舎棟
- 屋体棟

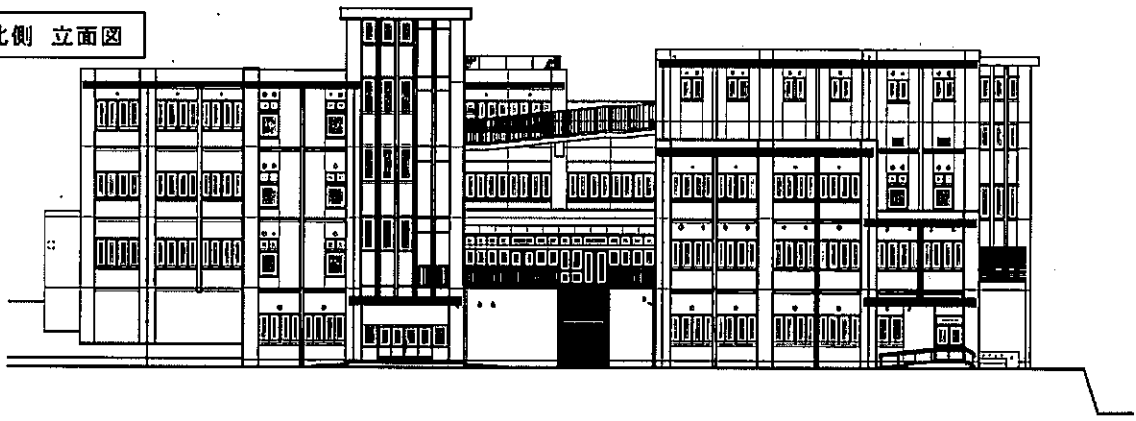
南側 立面圖



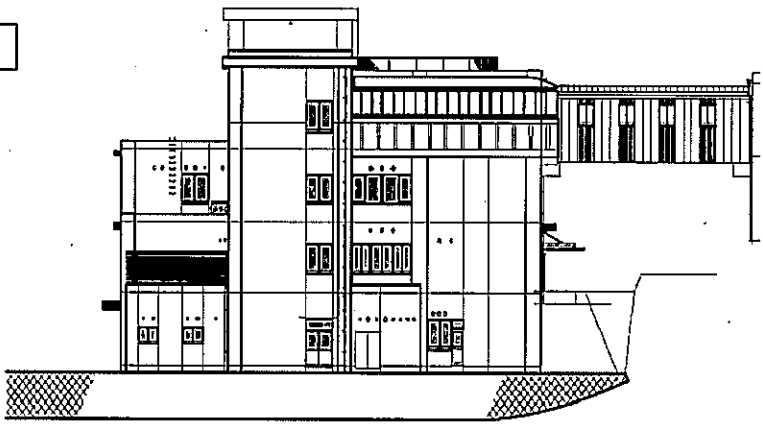
東側 立面圖



北側 立面圖

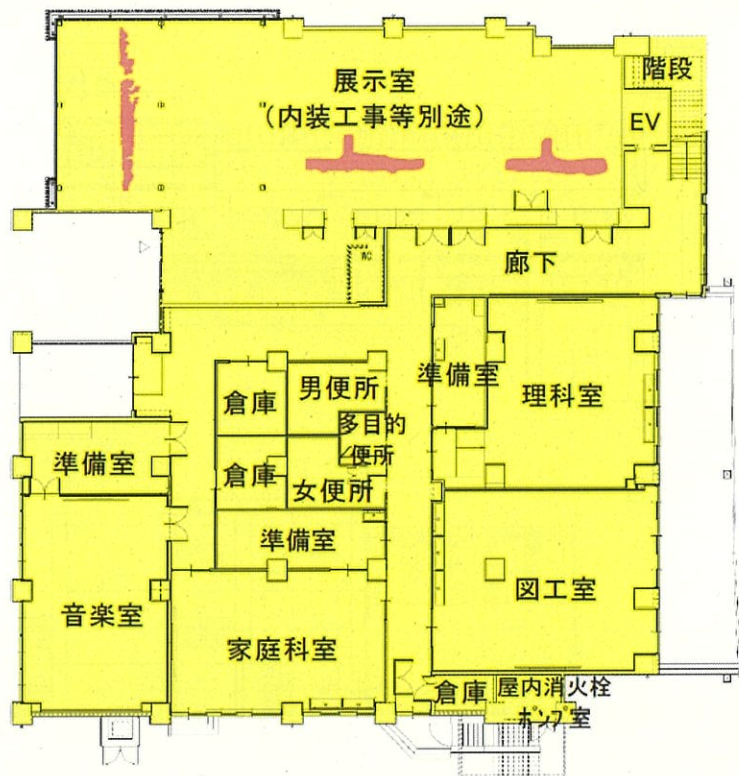


西側 立面圖

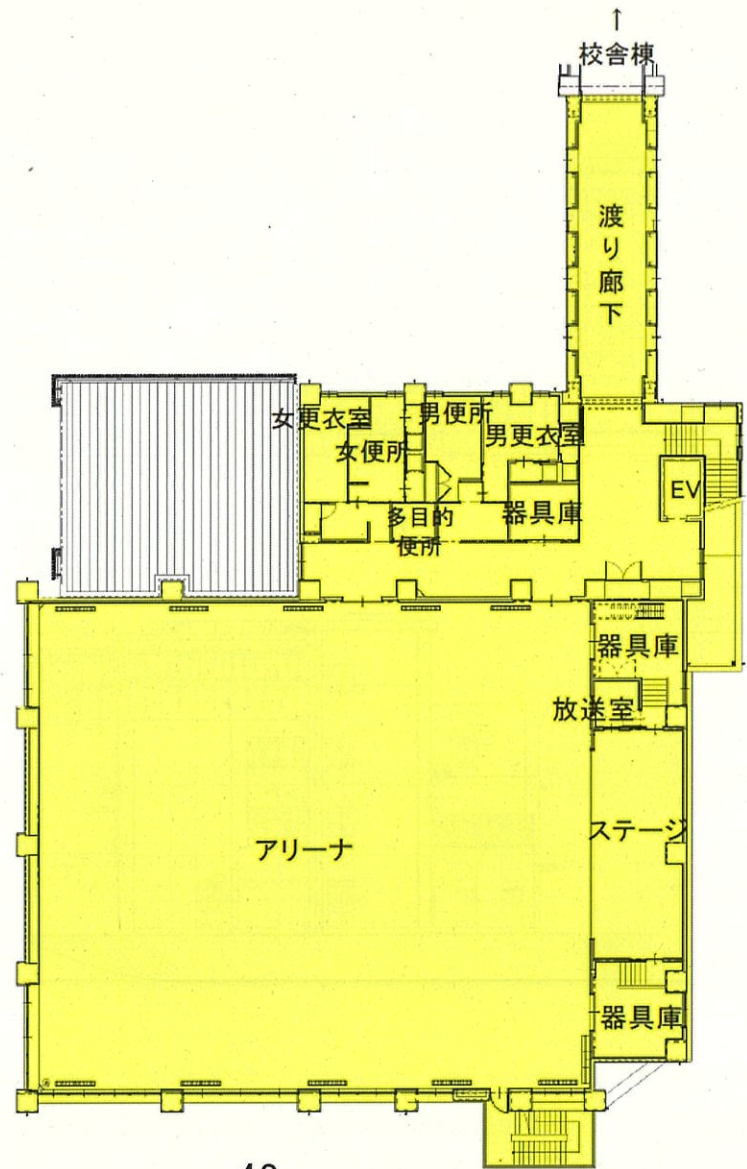


- 校舍棟
- 屋體棟

1階 平面図

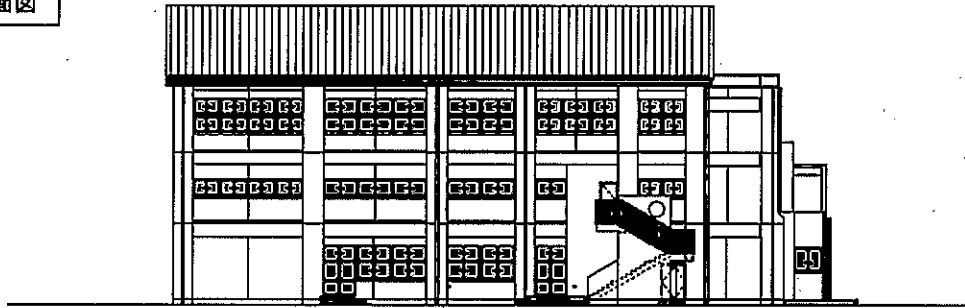


2階 平面図

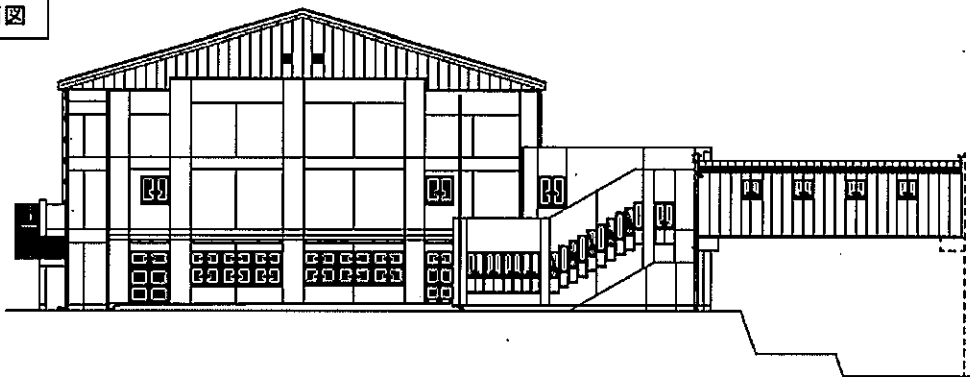


- 校舎棟
- 屋体棟

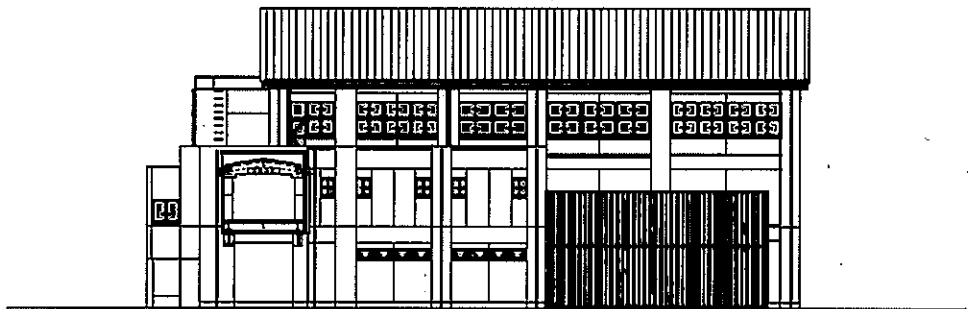
南側 立面圖



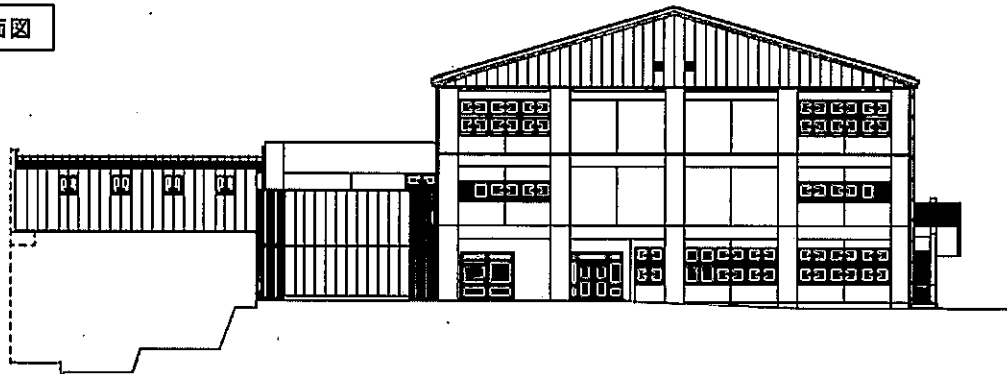
東側 立面圖



北側 立面圖



西側 立面圖



□ 校舍棟

□ 屋體棟

校舎棟（南側外観）



校舎棟（内部・普通教室）



令和2年2月17日現在

体育館・特別教室棟（北側外観）



体育館・特別教室棟（内部・体育館）



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278 ~279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-2	【単独】小学校整備事業費 西浦上小校舎等改築	千円 8,000

1 概 要

西浦上小学校は、最も古い校舎が建設から65年を経過していること、屋内運動場やプールについても老朽化が進んでいることから、全面的な建替えを行い、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

令和2年度は、全面的な建替えに向け、敷地等の測量設計を行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和元年5月1日現在） 【長崎県学級編成基準】

児童数 721人 学級数 26クラス（特別支援4クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計） ※平均入学率を加味

（R1.5.1現在）

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	702人	733人	697人	659人	641人	640人	608人
学級数	22学級	25学級	23学級	21学級	20学級	21学級	19学級

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

(2) 事業費内訳

区分	予算額（千円）	内 容
委託料	8,000	敷地等測量設計 8,000千円
計	8,000	

3 スケジュール（予定を含む）

平成30年度

耐力度調査、土質調査、登記測量

令和元年度

石綿含有調査

令和2年度

敷地等測量設計

令和2~3年度

基本実施設計

令和3~6年度

仮設校舎使用期間

令和6年度

校舎棟・屋内運動場供用開始予定

令和8年度

運動場供用開始予定

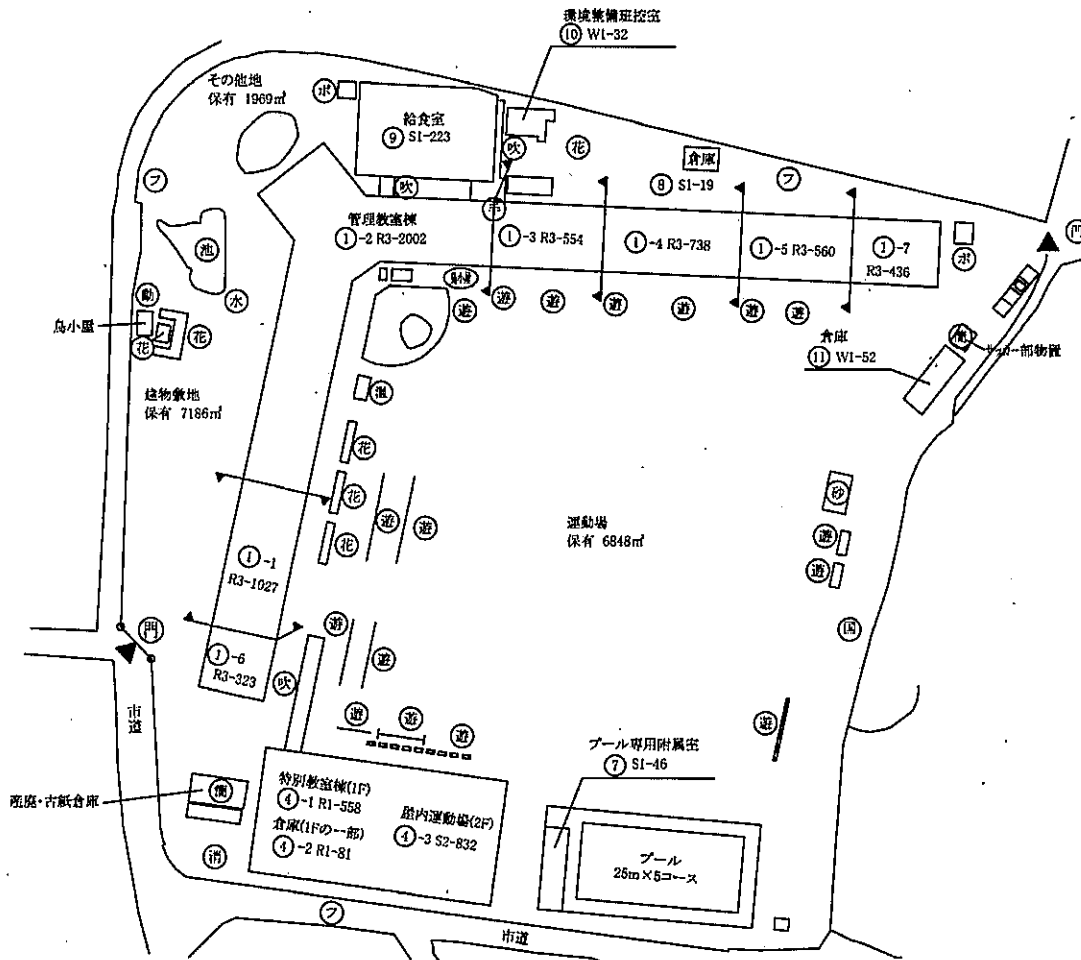
4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 8,000	千円 -	千円 -	千円 6,000	千円 -	千円 2,000

※ 学校教育施設等整備事業債（充当率：75% 交付税措置率 - %）

5 西浦上小学校の施設配置及び概要

（令和元年5月1日現在）

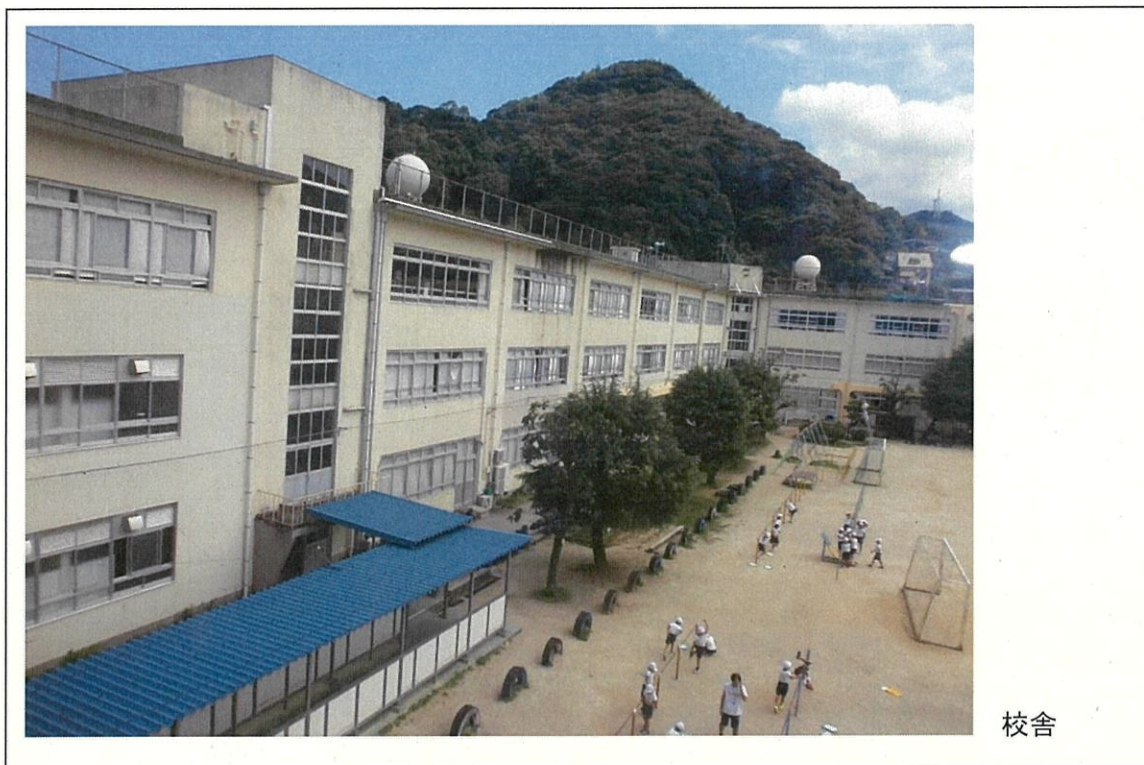


施設の概要（令和元年5月1日現在）

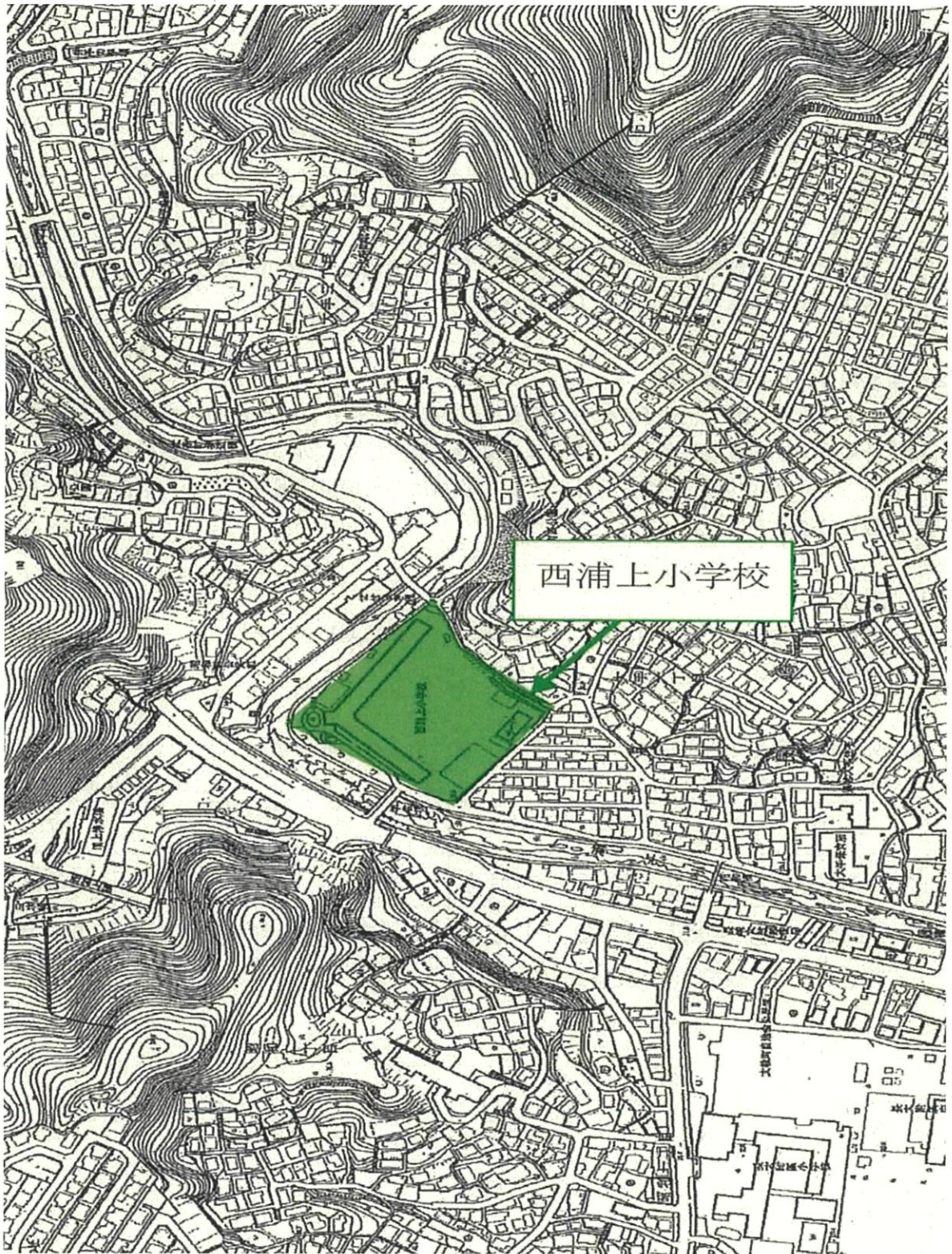
内容	保有面積 (m ²)	建設年月日
校舎等	6,524	昭和29年3月建設 (最も古い校舎)
屋内運動場	913	昭和44年3月建設
プール	275	昭和50年6月建設
校地面積	16,003	
建物敷地	7,186	
運動場	6,848	
その他法面等	1,969	

※プールの面積は水面積による

6 西浦上小学校の現況写真



7 西浦上小学校位置图



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278～ 279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-3	【単独】小学校整備事業費 小島小校舎等改築	千円 206,000

1 概 要

小島小学校は、最も古い校舎が昭和5年5月建築で既に89年が経過し、校舎の老朽化が進んでいることから改築を行うこととし、教育環境の改善を図る。

2 事業内容及び事業費内訳

令和2年度は、新校舎及び学校敷地整備等の基本実施設計を行うとともに、令和元年度に引き続き小島小学校へ車両等が進入できるよう取付道路（仮橋）の整備及び校舎の一部解体を行う。

また、工事期間中の代替グラウンドとして、近隣にある旧愛宕保育園跡地を活用することとし、当該敷地の整備を行う。

(1) 学校施設

ア 規模（令和元年5月1日現在）【長崎県学級編成基準】

児童数 279人 学級数 14クラス（特別支援3クラス含む）

イ 児童数・学級数の現状及び将来推計 【長崎県学級編成基準】

（学年進行による推計）

（R1.5.1現在）

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
児童数	263人	266人	264人	276人	289人	298人	316人
学級数	11学級	11学級	11学級	11学級	11学級	12学級	13学級

※特別支援学級を除く（児童数・学級数）

(2) 事業費内訳

区 分	予算額 (千円)	内 容
基本・実施設計	51,626	新校舎・学校敷地に係る設計 (前払金相当)
取付道路 (仮橋) 整備 (国道側) ①	28,519	国道側の整備 (完成払金相当)
校舎解体 ②	88,500	取付道路整備に支障となる校舎の一部解体
取付道路 (仮橋) 整備 (グラウンド側) ③	14,281	グラウンド側の整備 (前払金相当)
仮設渡り廊下賃貸借 ④	10,213	既存校舎棟 - 屋内運動場の通路整備
旧愛宕保育園跡地整備 ⑥	12,021	代替グラウンド整備 (完成払金相当)
その他	840	事務費等
計	206,000	

3 スケジュール (予定を含む)

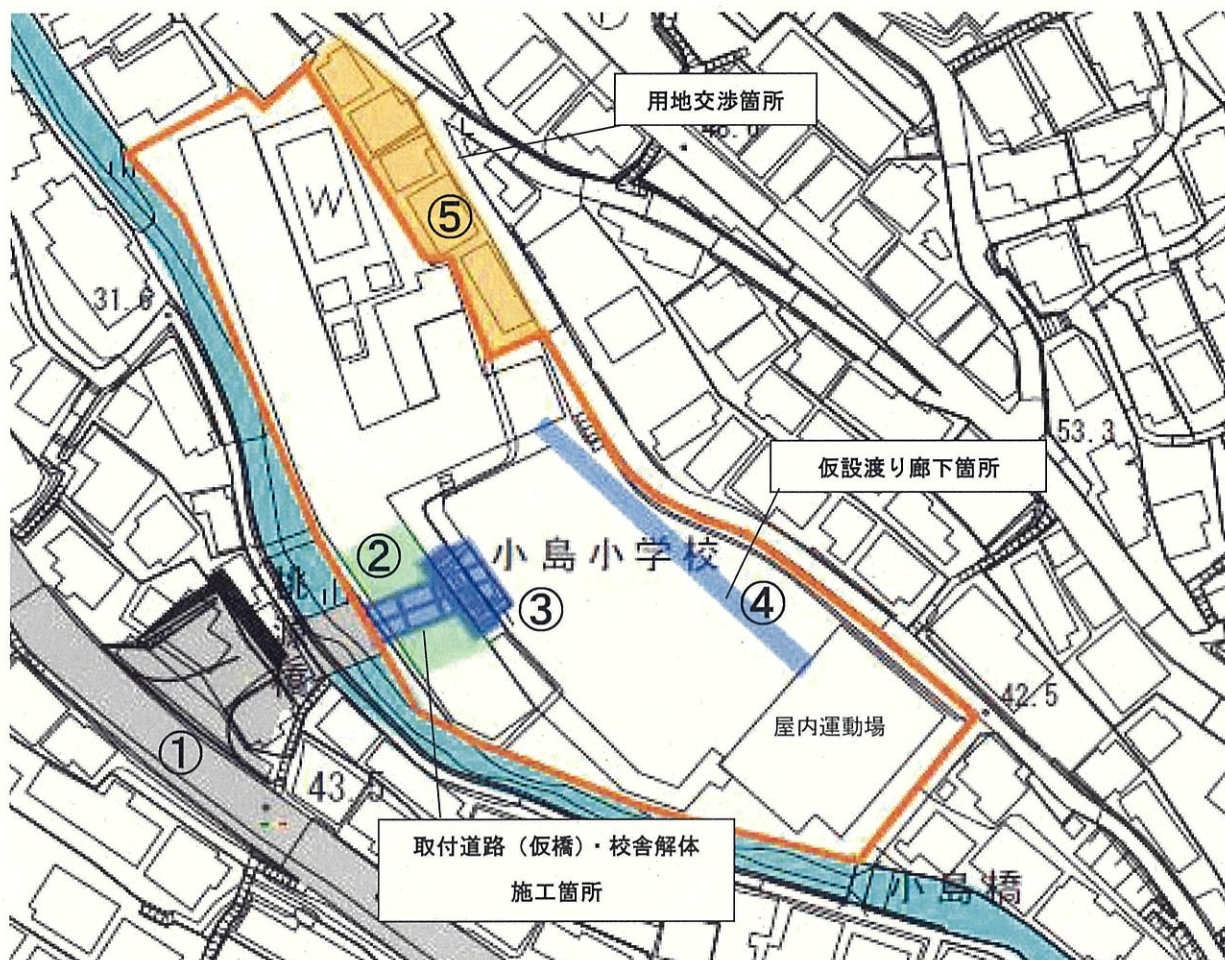
平成 28 年度	用地測量、建物調査、土地鑑定評価
平成 29～30 年度	取付道路用地買収・補償
平成 30 年度	取付道路 (仮橋) 測量設計
令和元年度	隣接地用地測量・建物調査、用地買収・補償
令和元～2 年度	取付道路 (仮橋) 整備、旧愛宕保育園跡地整備
令和 2～3 年度	基本・実施設計、校舎一部解体
令和 4～7 年度	仮設校舎使用期間
令和 7 年度	校舎棟・屋内運動場供用開始予定
令和 9 年度	運動場供用開始予定
令和 11 年度	取付道路 (本橋) 供用開始予定

4 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
206,000	—	—	153,300	—	52,700

※ 学校教育施設等整備事業債 (充当率: 75% 交付税措置率 1%)

5 学校敷地の施工予定箇所



6 旧愛宕保育園跡地の概要

- (1) 所在地 : 長崎市愛宕3丁目429番地21
- (2) 敷地面積 : 1,186.68 m²
- (3) 整備事業費 : 26,000 千円 (継続費の範囲内で実施)
- (4) 整備内容 : クレイ舗装、フェンス、砂場・鉄棒ほか遊具、倉庫設置
- (5) 代替グラウンド使用期間 : 令和2年9月～新グラウンド供用開始(令和9年)までの期間
- (6) 小島小との往復時間 : 徒歩約15分

7 位置図（学校敷地及び旧愛宕保育園跡地）



8 旧愛宕保育園跡地 現況写真



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278～ 279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-4	【単独】小学校整備事業費 大規模改造	千円 33,300
282～ 283	10 教育費	3 中学校費	4 学校建設費	2-1	【単独】中学校整備事業費 大規模改造	千円 73,200

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置及び内部改修を行うことにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

なお、本事業の屋上防水改修は補助事業で行う外壁改修工事に伴い行うものである。

2 事業内容

学校区分	学校名	事業費	改修内容
小学校	稲佐小学校	9,400千円	校舎の屋上防水改修
	稲佐小学校	23,100千円	屋内運動場の屋根改修
	事務費	800千円	—
計		33,300千円	—
中学校	戸町中学校	37,380千円	校舎の屋上防水改修
	小江原中学校	34,600千円	校舎の屋上防水改修
	事務費	1,220千円	—
計		73,200千円	—
小中合計		106,500千円	—

3 財源内訳

事業費		財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
小学校	千円 33,300	千円 -	千円 -	千円 24,900	千円 1	千円 8,399
中学校	千円 73,200	千円 -	千円 -	千円 54,900	千円 -	千円 18,300
合計	千円 106,500	千円 -	千円 -	千円 79,800	千円 1	千円 26,699

※1 学校教育施設等整備事業債(充当率 75%、交付税措置率 50%)

※2 保険料個人負担金

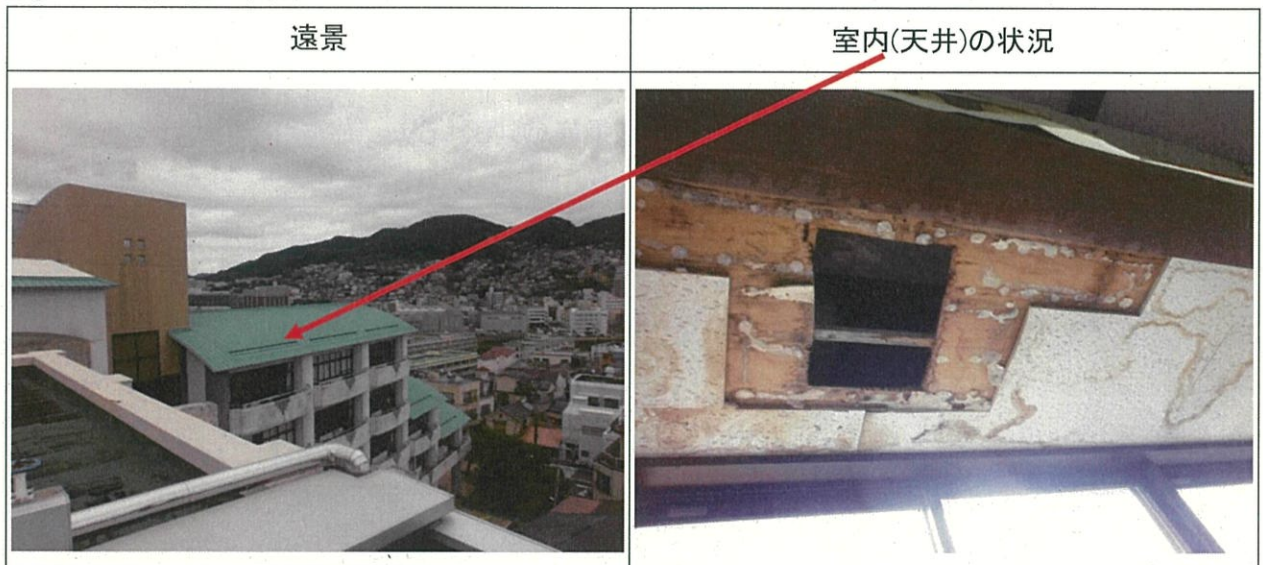
4 その他(現況写真等)

(1) 稲佐小学校校舎屋上防水改修工事

① 建築年月:平成4年8月(27年経過)

② 現況:屋根の腐食により、雨漏りが発生している。

③ 工期:約3ヶ月

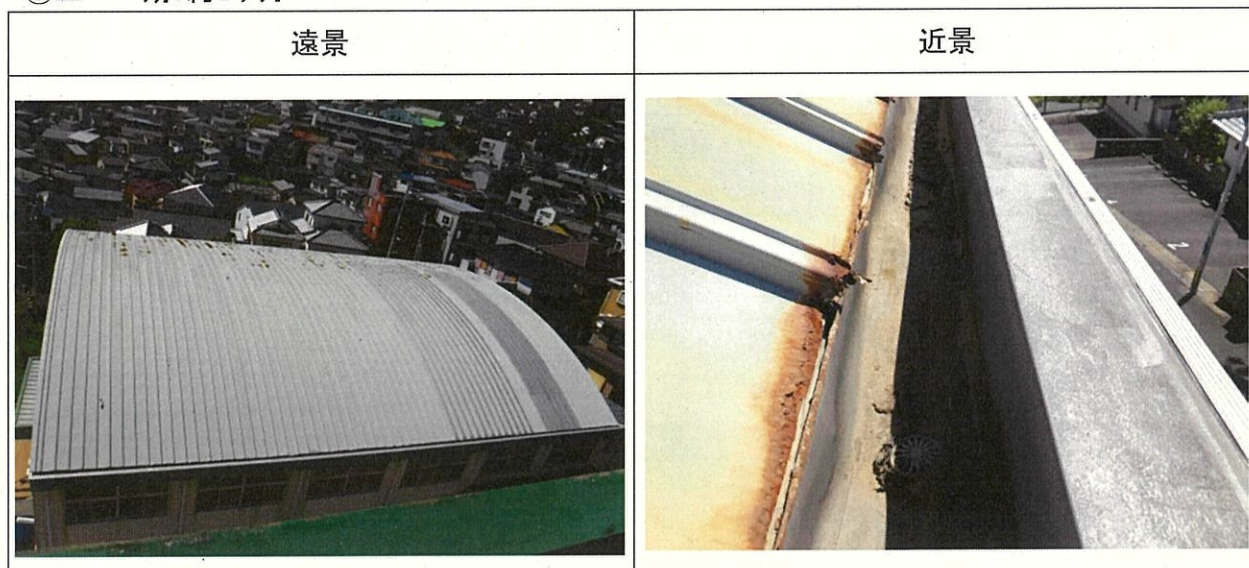


(2) 稲佐小学校屋内運動場屋根改修工事

① 建築年月: 昭和 55 年 3 月 (39 年経過)

② 現 況: 屋根の腐食により、雨漏りが発生している。

③ 工 期: 約 3 ヶ月

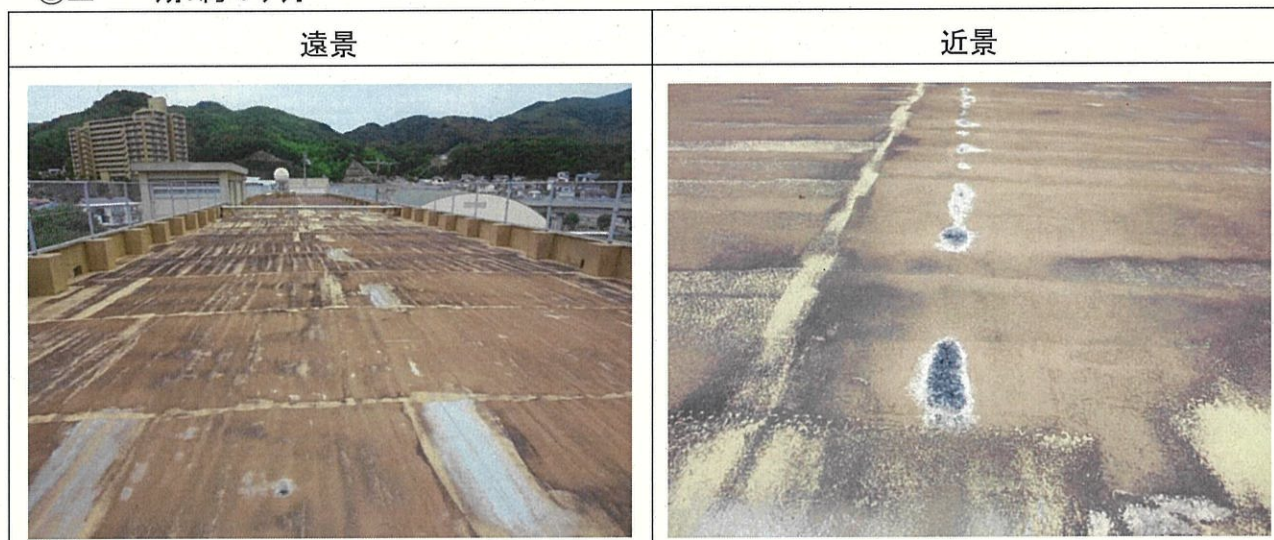


(3) 戸町中学校校舎屋上防水改修工事

① 建築年月: 昭和 36 年 3 月 (58 年経過)

② 現 況: 老朽化により屋上の防水層に破損等が見られる。

③ 工 期: 約 4 ヶ月

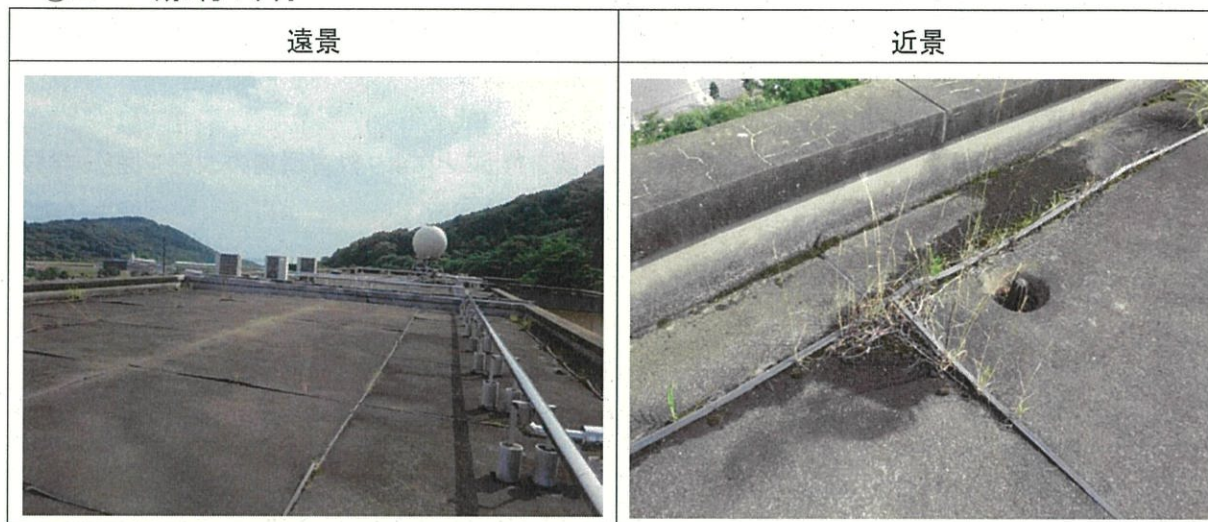


(4)小江原中学校校舎屋上防水改修工事

①建築年月:昭和58年3月(36年経過)

②現況:老朽化により屋上の目地等に破損が見られる。

③工期:約4ヶ月



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
278~ 279	10 教育費	2 小学校費	4 学校建設費	2-5	【単独】小学校整備事業費 諸工事	千円 54,600

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置を行うことにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

2 事業内容

学校区分	学校名	事業費	改修内容
小学校	鳴見台小学校	8,500千円	カーペット床のフローリング化改修工事
	桜が丘小学校	18,900千円	
	愛宕小学校	12,000千円	高圧受変電設備改修工事
	小江原小学校	15,200千円	
合計		54,600千円	—

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 54,600	千円 —	千円 —	千円 40,900	千円 —	千円 13,700

※ 学校教育施設等整備事業債 充当率 75%(交付税措置率—%)

4 その他(現況写真等)

(1) 鳴見台小学校カーペット床改修工事

① 建築年月:平成2年3月(29年経過)

② 現況:カーペット床に染みや汚れがあり、衛生上良くない状態である。

③ 改修面積:381 m²

④ 工期:約2.5ヶ月(主に夏休み施工予定)



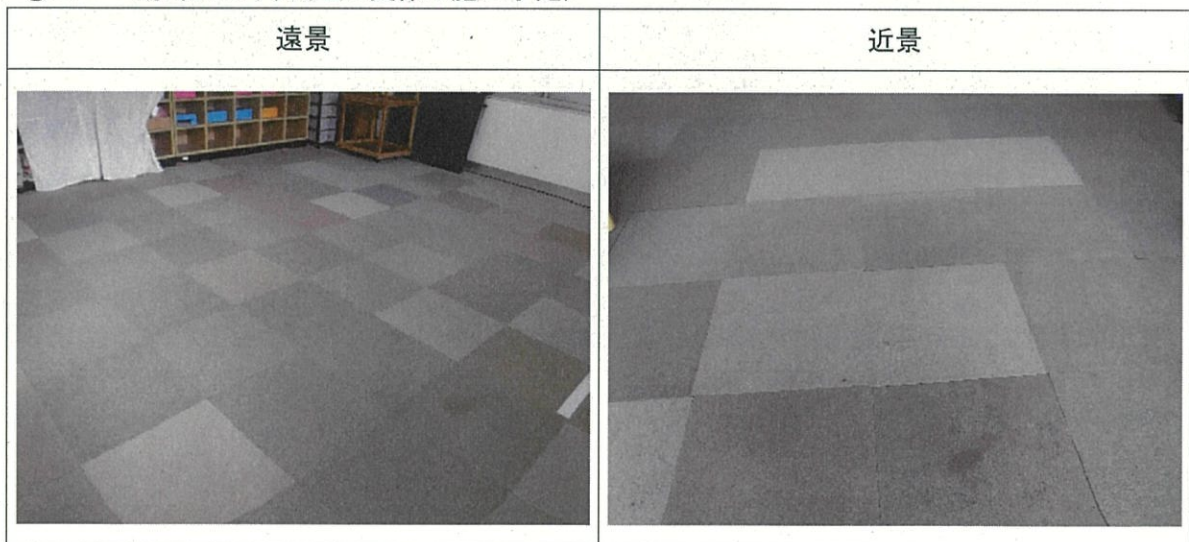
(2) 桜が丘小学校カーペット床改修工事

① 建築年月:平成2年3月(29年経過)

② 現況:カーペット床に染みや汚れがあり、衛生上良くない状態である。

③ 改修面積:887 m²

④ 工期:約2.5ヶ月(主に夏休み施工予定)



(3) 愛宕小学校高圧受変電設備改修工事

①設置年月:昭和52年(42年経過)

②現況:老朽化により高圧受変電設備に劣化が見られる。

③工期:約4ヶ月

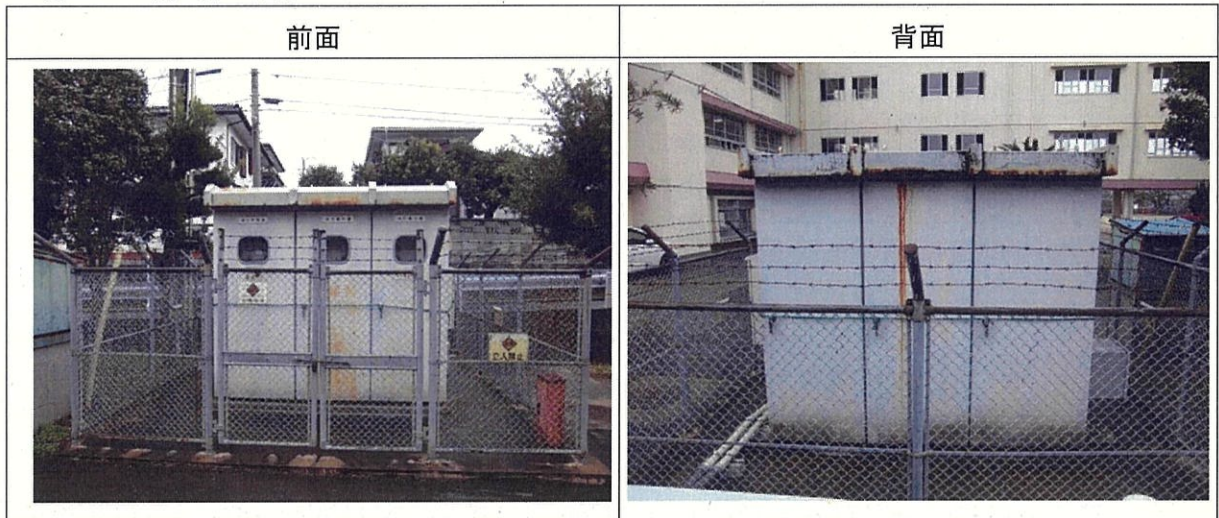


(4) 小江原小学校高圧受変電設備改修工事

①設置年月:昭和54年(40年経過)

②現況:老朽化により高圧受変電設備に劣化が見られる。

③工期:約4ヶ月



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
284～ 285	10 教育費	4 高等学校費	4 学校建設費	1-1	【単独】高等学校整備事業費 大規模改造	千円 59,500

1 概 要

学校施設の損耗や機能低下に対する復旧措置を行うことにより教育環境の改善を図り、学校教育の円滑な実施に資するとともに、建物の耐久性の確保を図る。

2 事業内容

学校名	事業費	改修内容
商業高等学校	59,480千円	校舎（産振棟）等の外壁改修
事務費	20千円	—
合計	59,500千円	—

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 59,500	千円 —	千円 —	千円 53,500	千円 —	千円 6,000

※ 一般単独事業債(臨時高等学校改築等分)(充当率:90% 交付税措置率-%)

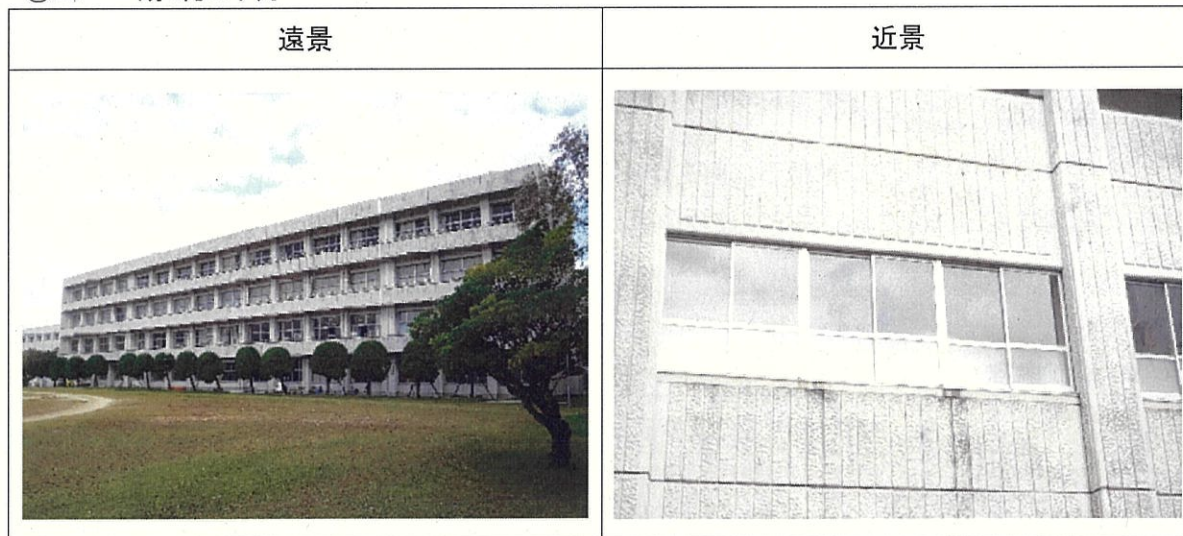
4 その他(現況写真等)

(1)長崎商業高校産振棟ほか外壁改修工事

①建築年月:昭和60年9月(34年経過)

②現況:老朽化により校舎等の外壁に劣化が生じている。

③工期:約5ヶ月



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
294～ 297	10 教育費	6 社会教育費	8 図書館費	1-1	市立図書館運営費	千円 548,493

【うちPFI事業分 540,334 千円】

1 概 要

市立図書館は、施設の設計・建設から維持管理及び運営業務（15年間）までPFI手法を導入している。

平成16年9月市議会

事 項 名	図書館整備運営事業
債務負担行為限度額	13,500,000千円
期 間	平成17年度から令和4年度まで

平成17年6月市議会

契 約 目 的	長崎市立図書館整備運営事業
契 約 方 法	総合評価一般競争入札
契 約 金 額	10,839,280,050円
契 約 期 間	平成17年6月23日から令和4年12月31日まで
契 約 相 手 方	株式会社 長崎クロスライブラリー 代表取締役 小森 建治

2 事業内容

(1) 市立図書館利用状況

項 目	平成29年度		平成30年度		今年度（4月～12月）	
	合 計	1日平均	合 計	1日平均	合 計	1日平均
入館者数	844,504人	2,806人	862,967人	2,858人	644,248人	2,826人
貸出利用者数	386,925人	1,285人	396,719人	1,313人	304,738人	1,337人
貸出点数	1,290,550点	4,288点	1,321,247点	4,374点	1,008,901点	4,225点
新規登録者数	8,835人	29人	9,098人	30人	4,936人	21人

(2) 予算の内訳

ア 新たな取り組み分（有料貸室の機能拡充）

(ア) 公衆無線 LAN 環境構築委託 860 千円

イ 法改正に伴う保守点検業務の追加分

(ア) 防火設備点検業務委託 1,139 千円

(イ) 非常用発電機負荷試験業務委託 698 千円

ウ PFI 事業分

内 訳	(円)	(円)	(円)	(円)
	PFIに係る 契約総額	30年度決算額	元年度予算額	2年度予算額
I 財産購入費	3,884,679,100	57,579,039	57,599,000	57,619,000
一括払い分	2,903,386,500	0	0	0
割賦払い分	981,292,600	57,579,039	57,599,000	57,619,000
II 維持管理費	1,571,787,000	108,087,324	110,577,000	111,462,000
III 運営費	2,181,312,000	144,420,228	148,236,000	148,860,000
IV 情報資料購入費	1,894,103,950	126,961,400	129,340,000	130,079,000
割賦払い分	694,111,450	40,728,167	40,742,000	40,756,000
毎年度購入分	1,199,992,500	86,233,233	88,598,000	89,323,000
V システム整備費	613,368,000	43,003,168	43,399,000	43,800,000
VI システム保守管理費	629,370,000	43,052,131	43,913,000	44,274,000
公租公課・保険料等	64,660,000	4,240,000	4,240,000	4,240,000
合 計	10,839,280,050	527,343,290	537,304,000	540,334,000

3 事業費及び財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	その他 ※	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
548,493	—	—	—	17,527	530,966

※その他財源

使用料（駐車場使用料ほか）	17,036 千円
西岡児童文庫基金繰入金	17 千円
中川文庫基金繰入金	41 千円
吉村文庫基金繰入金	41 千円
雑入（複写手数料）	392 千円
合 計	17,527 千円

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
296～ 297	10 教育費	6 社会教育費	9 科学館費	2-1	【単独】科学館施設整備事業費 科学館設備整備	千円 38,000

1 概 要

設置から22年経過し、経年劣化している空調設備を更新し、適切な施設管理を行う。

2 事業内容

(1) 吸収式冷温水機更新工事 25,798千円

2階プラネタリウム及び3階展示室用の冷温水機を取替える。

・ 工期 約6か月(現場工事は30日間程度)

令和2年									
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
		← 現場工事 →							

(2) ガスヒートポンプ式エアコン更新工事 12,202千円

現在使用している機器が製造中止となったため、今後修理が出来なくなることを考慮し、令和元年度から年次的に取替えを行っている。

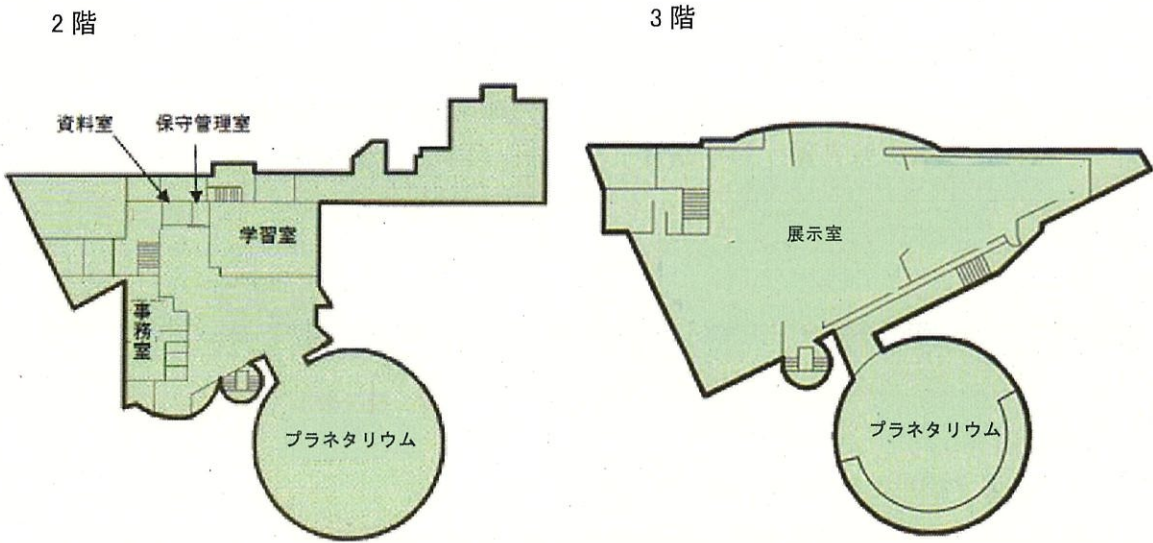
ア 工期 約4か月(現場工事は30日間程度)

令和2年								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
				← 現場工事 →				

イ 更新スケジュール

年度	工事箇所	数量
令和元年度	1階実験室、工作室、準備室、エントランスホール 2階プラネタリウム機器室	室外機3台、室内機12台
令和2年度	2階事務室、資料室、保守管理室、学習室	室外機2台、室内機11台
令和3年度	2階エントランスロビー	室外機3台、室内機12台
令和4年度	2階会議室、更衣室、館長室	室外機2台、室内機5台

3 平面図



4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 38,000	千円 —	千円 —	千円 36,100	千円 —	千円 1,900

※ 合併特例債（充当率：95%、交付税措置率：70%）

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
296～ 297	10 教育費	6 社会教育費	10 恐竜博物館費	1-1	恐竜化石等研究調査費	千円 7,726

1 概 要

長崎半島にある白亜紀後期の三ツ瀬層(約8100万年前)から恐竜・翼竜等の化石が多数発見されており、今後も化石発見の可能性が高いことから、福井県立恐竜博物館と引き続き共同して化石の発掘調査・研究を行う。

また、長崎市から産出されている恐竜等の化石について、市民の興味関心を深め、長崎の自然史に係る新しい学習機会を創出するため、講演会等の教育普及活動を行う。

2 事業内容

(1) 福井県立恐竜博物館との共同研究 7,079千円

福井県立恐竜博物館との共同研究を平成24年度から継続して行っている。令和2年度も引き続き共同で化石の発掘調査を行い、福井県立恐竜博物館にてクリーニング及び鑑定を行う。

(内訳)

ア 共同研究負担金(化石クリーニング費用等)	6,520千円
イ 化石発掘調査作業員報酬・手当	120千円
ウ 事務費	439千円



(2) 恐竜化石リーフレット印刷製本費 154千円 ※印刷部数:10,000部予定

長崎市から産出されている恐竜等の化石について興味関心を持ってもらうための学習素材としてリーフレットを作成し、市内小・中学校、科学館、軍艦島資料館恐竜化石コーナーに配布する。



(3) 教育普及活動費(消耗品費、ソフトウェア借上料等) 493千円

恐竜博物館建設に向けて、長崎市から産出されている恐竜等の化石について市民の興味や関心を高めるため、恐竜に関する講演会の開催等を行う。

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 7,726	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 7,726

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
296~ 297	10 教育費	6 社会教育費	10 恐竜 博物館費	2-1	【単独】恐竜博物館整備 事業費 恐竜博物館建設	千円 1,037,900

1 概 要

長崎半島において白亜紀後期の三ツ瀬層(約 8100 万年前)からティラノサウルス科の歯の化石をはじめ、恐竜・翼竜など多種多様の化石が発見されており、それらをもとにその当時の長崎の情景が描けることは専門家からも高い評価を受けている。これら長崎の自然史における貴重な財産を有効に活用して、調査研究、資料の収集、展示、教育活動に資するため、恐竜博物館を建設する。

2 事業内容及び事業費内訳

令和2年度は建築工事及び展示施工、研究機器、標本等の取得及び博物館の看板、恐竜オブジェの制作等を行う。

区 分	予算額(千円)	内 容
建築工事	751,290	建築工事見込額の60%(完成払分) ・予算(継続費)総額(建築工事:R1~R2):1,252,217千円(※) ※建築主体工事、展示室内装工事、外構工事、電気工事、管工事
研究機器・ 標本等取得	273,303	研究機器、標本、備品等の取得 ・研究機器:X線CTシステム、走査型電子顕微鏡等 138,050千円 ・標本:レプリカ(37点)、実物化石(26点)等 120,541千円 レプリカにはトリックス(ティラノサウルス全身骨格化石)を含む ・備品:収納棚、机、その他事務機器 14,712千円
看板・オブジ ェ制作	13,025	博物館の案内・広告看板、恐竜オブジェの制作 ・案内板(2箇所):博物館までの距離を示すもの 307千円 大きさ:高さ1.5m、幅0.3m程度 設置場所:三和地域センター交差点付近、岳路運動公園付近 ・広告看板(3箇所):博物館をPRするもの 911千円 大きさ:高さ2m、幅2.5m程度 設置場所:三和地域センター付近、高浜アイランド付近、野母崎 総合運動公園入口付近 ・野母崎ナビ看板(1箇所):野母崎の観光案内板 607千円 大きさ:高さ2m、幅2.5m程度 設置場所:博物館エントランス ・恐竜オブジェ(1箇所):博物館をPRするもの 11,200千円 大きさ:高さ3m、全長7m程度 設置場所:博物館正面の外構部分
事務費	282	標本保管場所の機械警備委託料、電気使用料等
計	1,037,900	

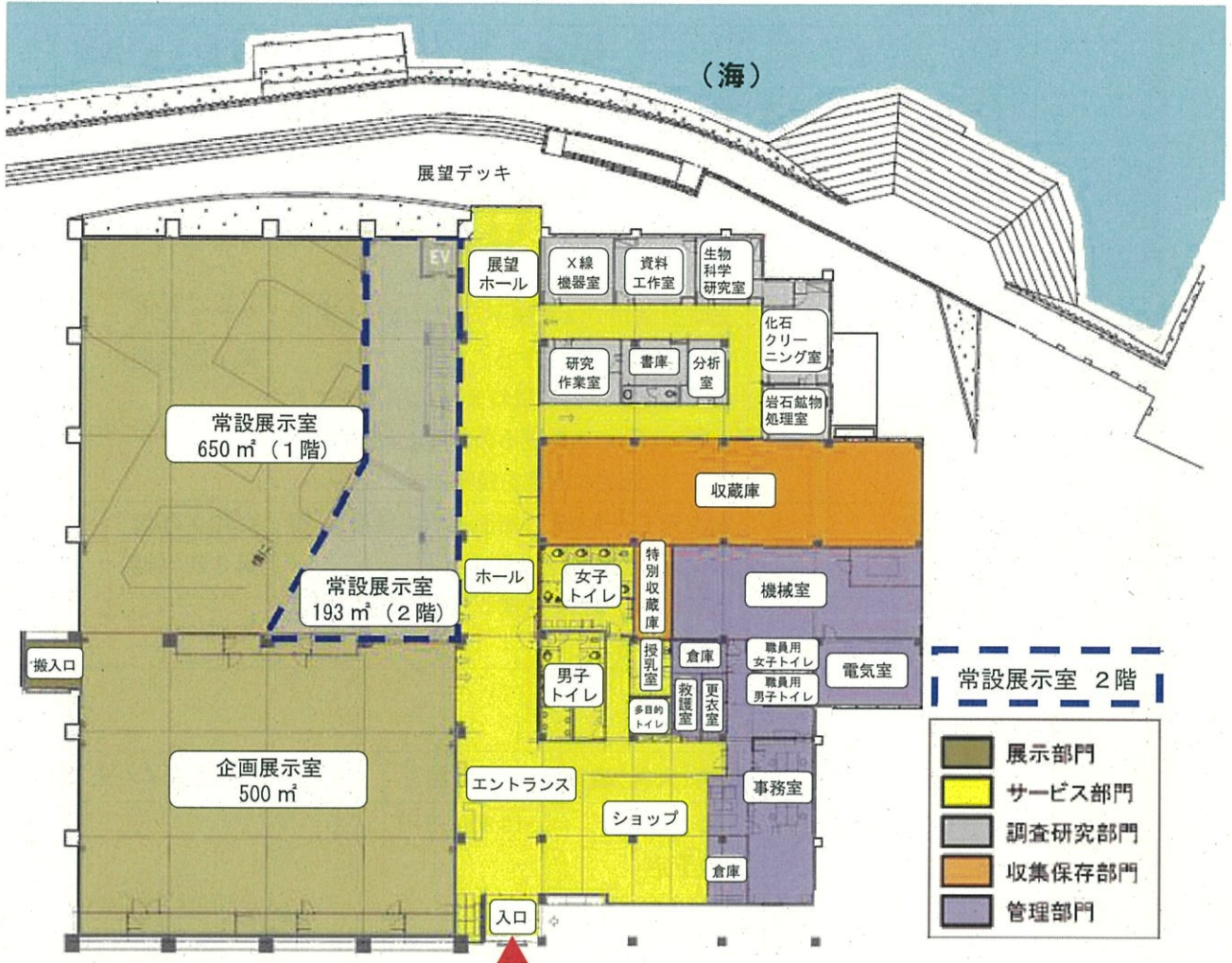
3 財源内訳

事 業 費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※1	その他※2	一般財源
千円 1,037,900	千円 -	千円 -	千円 1,032,900	千円 5,000	千円 -

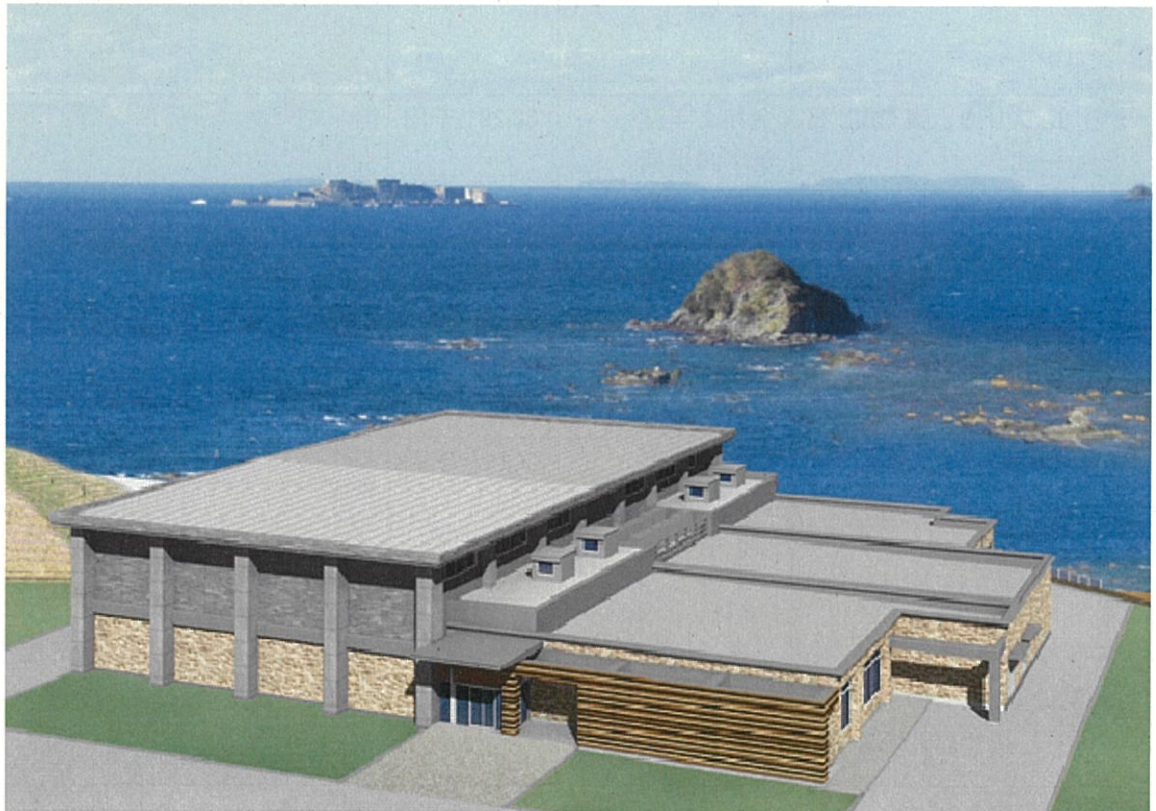
※1 過疎対策事業債(充当率:100%、交付税措置率70%)

※2 企業版ふるさと納税寄附金

4 施設平面図



5 博物館建物の完成イメージ図

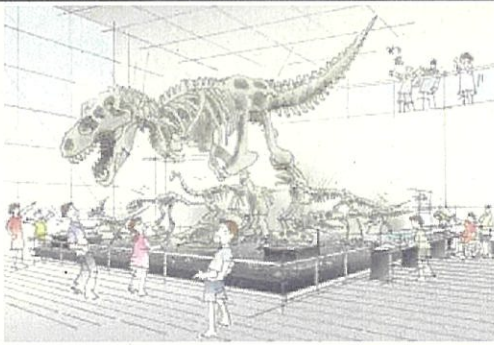
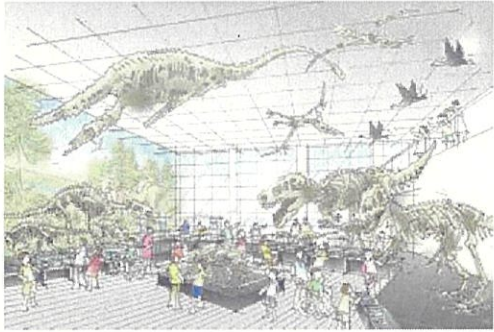



6 取得する主な研究機器、標本等について

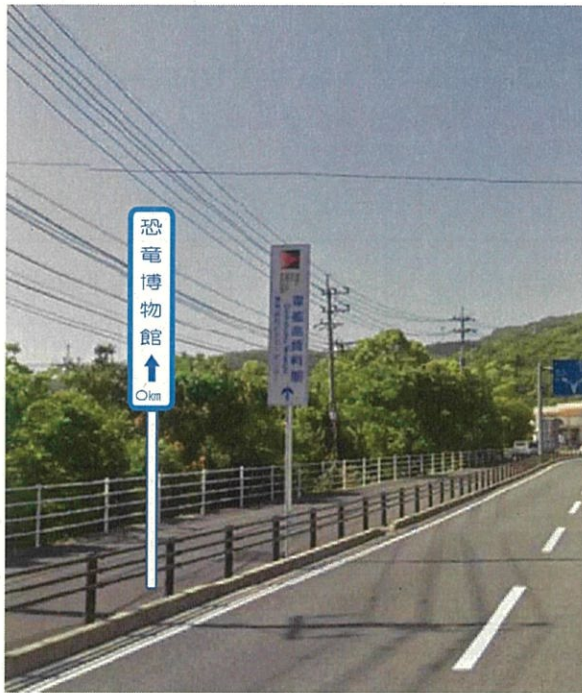
(1) 研究機器

品名	特徴・用途	調達(入札)時期	予算額
X(エックス)線CTシステム一式	岩石に埋もれている化石の状態を、岩石を割ることなく調査することで、剖出作業の効率化を図る。また、化石の剖出作業で失われやすい細かな化石をデジタルデータ上で解析できる。	令和2年度 第1四半期	99,000千円
走査型電子顕微鏡一式 (関連機器含む)	光学顕微鏡では観察不可能な微小な表面構造を鮮明に観察する。 凹凸の激しい化石試料表面の構造を拡大して、肉眼で物を見るのと同じような感覚で、三次元的な画像を観察できる。	令和2年度 第1四半期	15,565千円
3Dプリンタ 大型:1台 小型:2台 (関連機器含む)	三次元データを元に断面形状を積層し、実物に近い立体物を造形する。 化石のレプリカを作成し、調査研究、展示に役立つ。	令和2年度 第3四半期	5,293千円

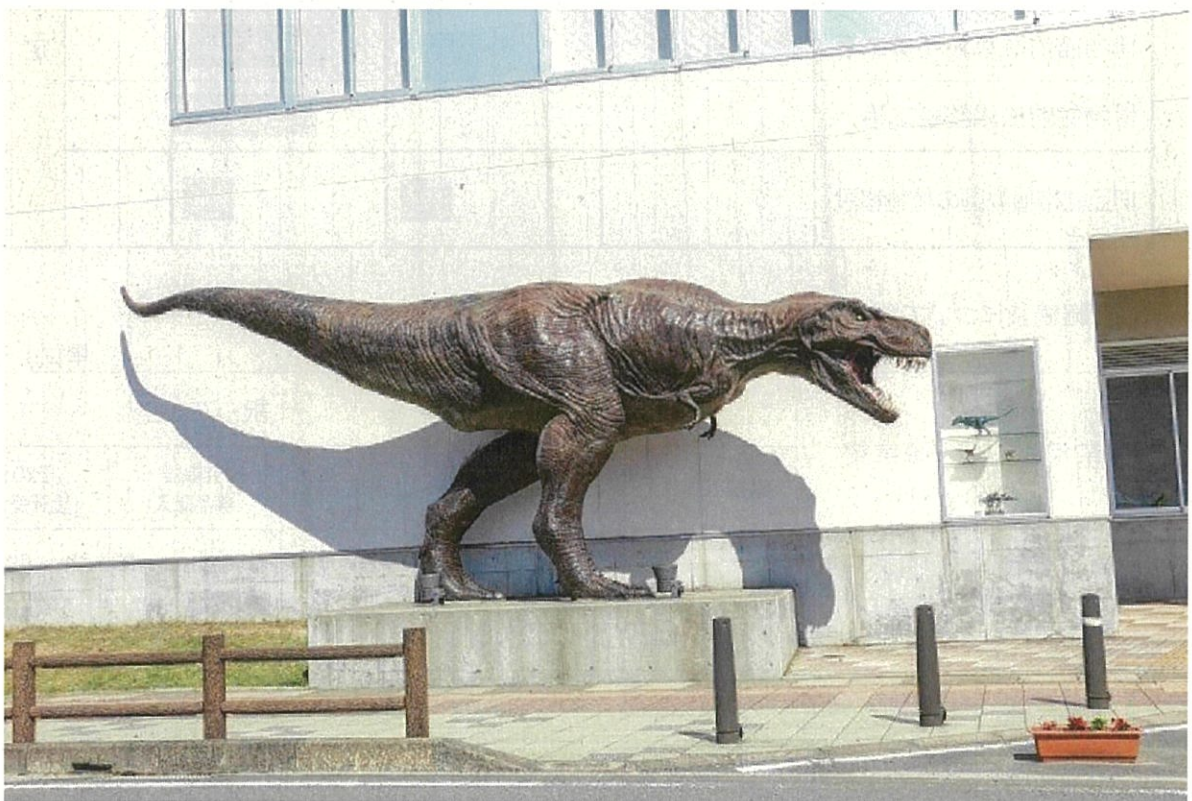
(2) 標本等

品名	調達(入札)時期	予算額	設置イメージ図
トリックスのレプリカ一式	令和2年4月 契約予定	19,800千円	
レプリカ、実物化石一式	令和2年度 第1四半期	68,291千円	
恐竜ロボット一式	令和2年度 第1四半期	30,030千円	

7 案内板及び広告看板の設置イメージ



8 恐竜オブジェイメージ (写真:御船町恐竜博物館)



9 全体スケジュール(予定を含む)

平成 29 年度	基本構想策定
平成 30 年度	基本計画策定、土質調査等、基本実施設計(建築・展示)、標本取得
令和元年度	基本実施設計(建築・展示) 【周辺整備】基本・実施設計(公園整備)、整備工事(道路及び交差点)
令和 2 年度	建築工事、展示施工、標本取得、研究機器及び事務用備品購入 【周辺整備】整備工事(道路及び交差点、公園整備)
令和 3 年度	展示施工、[10 月開館]

項目	平成 30 年度				令和元年度				令和 2 年度				令和 3 年度				
	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	
基本計画策定、土質調査等	■																
標本取得	■								■								
建築設計・建築工事					■ 基本実施設計				■ 建築工事								
展示設計・展示施工					■ 基本実施設計				■ 展示施工								
研究機器・備品購入									■								
市道野母町 1 号線及び 国道 499 号交差点改良工事							■										
公園基本設計・実施設計						■ 基本設計		■ 実施設計									
博物館前駐車場整備工事									■ 駐車場工事								
博物館前広場整備工事									■ 広場工事								
旧亜熱帯植物園の植物移設							■ 1 期				■ 2 期						

恐竜博物館
開館予定

10 継続費について(参考)

単位：千円

事業年度	事業費	内 訳				
		建築工事費	展示施工費	標本取得	研究機器・備品購入	その他(設計費含む)
平成 30 年度	133,740	0	0	75,600	0	58,140
令和元年度	709,000	500,927	92,684	0	0	115,389
令和 2 年度	1,037,900	751,290	0	120,541	152,762	13,307
令和 3 年度	216,400	0	216,349	0	0	51
総事業費	2,097,040	1,252,217	309,033	196,141	152,762	186,887

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
300～ 301	10 教育費	7 保健体育費	2 学校給食費	4-1	【単独】学校給食 施設整備事業費 学校給食センター 建設	千円 5,100

1 概 要

本市では、小中学校において給食を提供しているが、調理機器の設置の有無により献立内容に学校間で違いがあること、食物アレルギーへの対応が現行の給食室では困難であること、給食室の多くが老朽化していることなどから、今後の学校給食のあり方を検討する中で、学校給食施設を集約化し、新たな学校給食センターを建設することとしている。

(仮称)長崎市三重学校給食センターの整備運営事業では、高度な衛生管理への配慮を行い、食物アレルギーを有する児童・生徒に対しても給食提供を行うなど、質的向上を図る一方で、維持管理及び運営経費について効率化を図る必要があることから、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」に基づき、施設の設計から建設、維持管理・運営を一体的に民間事業者任せ実施することとしている。

令和2年度は、基本・実施設計を行い、建設工事に着手し、令和4年1月からの供用開始を目指す。

2 事業内容

(1) 金融機関との直接協定の設定に伴う支援業務委託 【※直接協定については別紙参考参照】

事業費 2,585千円

履行期間 令和2年8月～令和2年12月(予定)

業務内容 学校給食センターの整備にあたっては、市とSPC(特別目的会社)で事業契約を締結し、施設引渡し時に市が支払う一時支払金以外の費用についてはSPCが金融機関から融資を受け資金を調達することとなる。そこで、市と融資を行う金融機関との間で、SPCが継続的に事業継続できるよう、SPCの業務状態が悪化した場合への支援等を定めた直接協定を締結するにあたり、市及び金融機関双方の義務、担保権の各種設定及び債権譲渡等における規定内容について、法務・財務アドバイザーとして専門的な知識やノウハウを用いて精査を行い合意形成に係る支援を受ける。

(2) 学校給食センターの整備に関する市民等への周知等

事業費 2,428千円(印刷製本費2,290千円、会場借上料4千円、消耗品費134千円)

・印刷製本費: 広報紙折込み157,800部、説明会等配布用5,200部

・会場借上料: 住民説明会に係る集会所使用料3回分

内容 市民の学校給食センターに関する理解を深めるため、学校給食の現状と課題による給食センターの必要性や整備概要を掲載したパンフレットを作成し広報紙へ折込む。また、近隣の自治会の住民を対象として、事業の概要や整備スケジュールについて説明会を実施するもの。

(3) 他都市給食センター視察の実施

事業費 87千円(旅費4千円、バス借上料83千円)

内容 本事業を進めるにあたり、近隣の自治会や栄養教諭などを対象として同規模の学校給食センター(佐世保市を予定)の調理・運営の様子を視察し給食センターの業務について理解を深めるため実施するもの。

3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 5,100	千円 —	千円 —	千円 —	千円 —	千円 5,100

4 事業日程

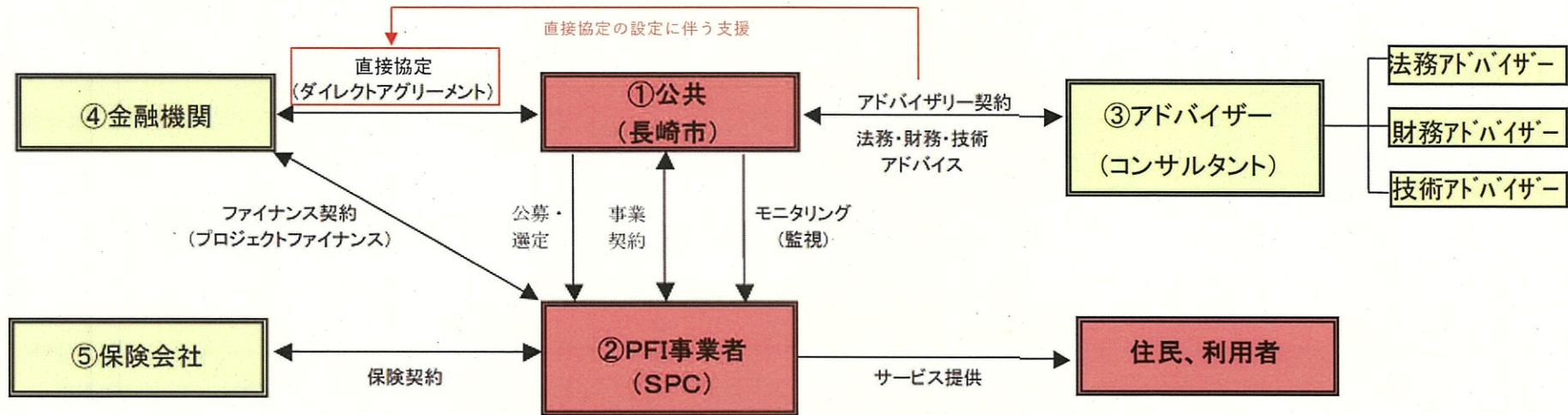
日程	内容
平成31年2月	2月議会において整備運営事業等の債務負担行為を設定
令和元年6月	実施方針等の公表
令和元年8月	特定事業の選定・募集要項等の公表、説明会・見学会の開催
令和元年12月	提案審査及びヒアリング、優先交渉権者の決定
令和2年1月	基本協定の締結、仮契約の締結
令和2年2月	2月議会において契約議案を提出
令和2年3月～令和2年8月	基本設計・実施設計、建築確認
令和2年9月～令和3年10月	建設、工事監理
令和3年11月～令和3年12月	施設引渡、開業準備
令和4年1月～令和18年7月	供用開始、維持管理・運営期間

【参 考】

直接協定とは、市と融資を行う金融機関との間で直接結ばれる協定で、SPCが継続的に事業継続できるよう、SPCの業務状態が悪化した場合に関係者で協議することや最終的にSPCの事業遂行が困難となった場合に、金融機関が事業修復のため介入することなど必要事項を規定するもの。

＜市側の必要性＞

- ・サービス提供の安定性、継続性の確保。（債権保全を目的とする金融機関による一方的資金回収・資産処分によるサービス提供の停止リスクを回避する。）
- ・金融機関の積極的な事業介入により事業再建を図ることができる。



(図：「長崎市PFI等手法導入の手引き」より)

【イメージパース】



予算説明書					事業名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
306~307	10 教育費	8 市民会館費	1 市民会館 総務費	3-1	【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館施設整備	千円 65,500

1 概要

経年劣化している防火戸及び市民体育館競技場の木製床について改修し、適切な施設管理を行うもの。

2 事業内容

(1) 地下2階防火戸改修工事 16,566千円

ア 工事内容

既存のスチール製の防火戸を錆に強いステンレス製の防火戸に取替える。

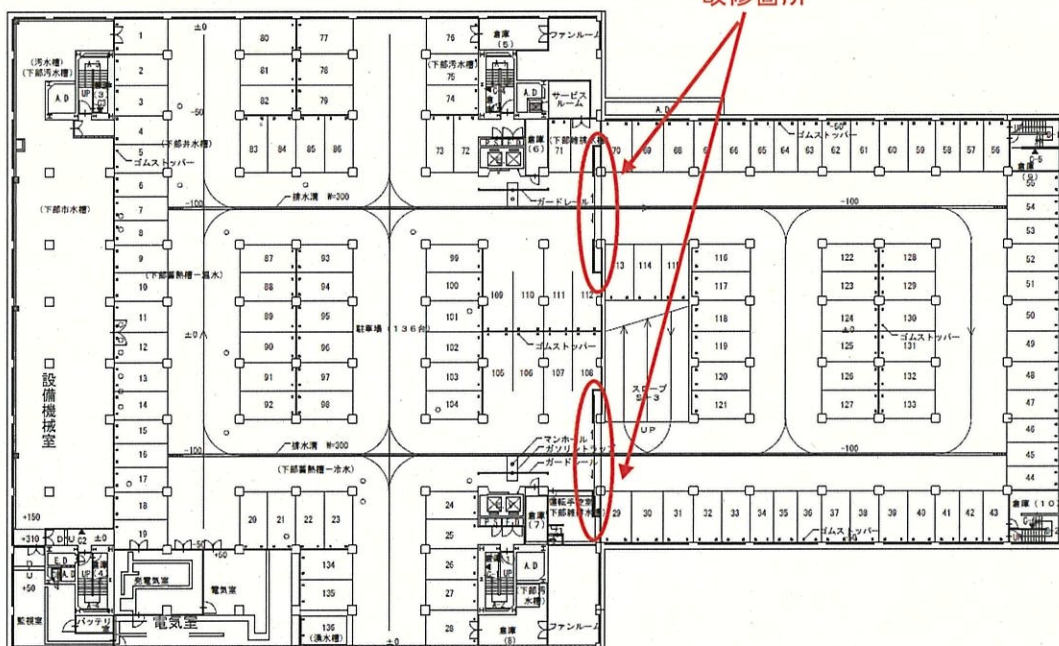
イ 工事箇所及び数量

市民会館地下2階駐車場防火戸 4面

ウ 工期 約3か月(現場工事は2週間程度)

令和2年								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		←		現場 工事				

エ 地下2階駐車場平面図



オ 工事期間中の影響と対応

駐車場利用者の利便性を考慮し、夜間工事とする。

(2) 市民体育館競技場床改修工事 48,934 千円

ア 工事内容

競技場床については、部分的に劣化した箇所があり、部分補修を繰り返している状況にあり、比較的補修が多いBコートでは床に滑り込むことが多いバレーボールの練習利用に制限をかけている。利用者の安全性・利便性を高めるため、既存の木製床の上に耐久性、弾力性がある長尺弾性塩化ビニールシートを重ね張りする。

【塩化ビニールシートのメリット】

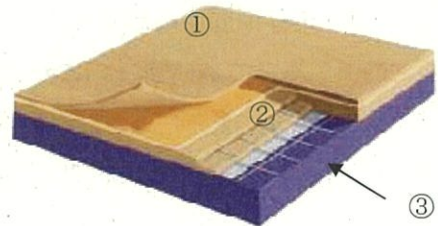
床板の剥離が生じず、負傷事故防止となり、安全性が高い。

床板の張り替えよりも現場工事が短期間となる。

メンテナンスが床板よりも容易である。

- ① ウレタンコーティング
- ② グラスファイバー層
- ③ スポンジ層

イメージ図

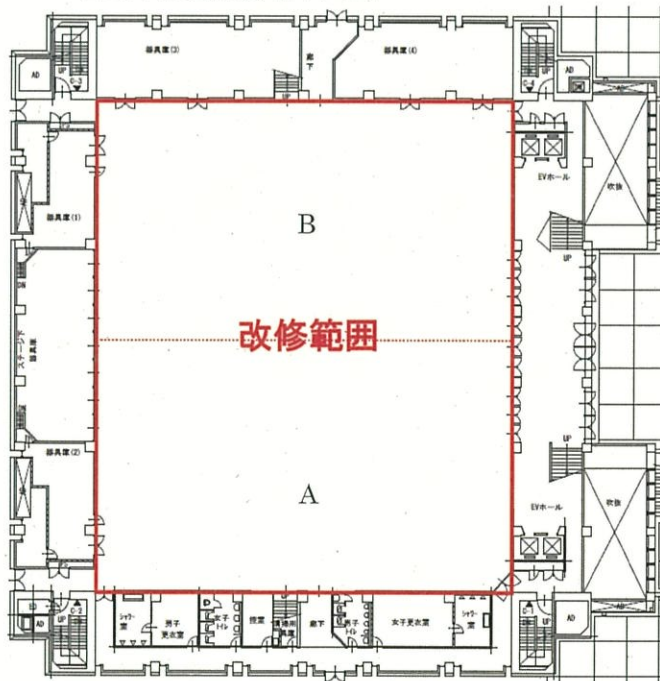


イ 工事箇所及び数量 競技場床 1,512 m²

ウ 工期 約 5.5 か月 (現場工事は 1.5 か月程度)

令和 2 年							令和 3 年		
6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	
			← 現場工事 →						

エ 市民体育館競技場平面図



才 現場写真

劣化状況



部分補修状況



カ 工事期間中の影響と対応

現場工事期間(約 1.5 か月程度)は市民体育館競技場の利用を中止する。また、階下が文化ホールであるため、工事に伴う騒音により文化ホールに利用制限が生じないよう、同時期に文化ホールの改修工事を行い、施設利用に与える影響を最低限に抑える。

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
千円 65,500	千円 -	千円 -	千円 62,200	千円 -	千円 3,300

※ 合併特例債 (充当率:95%、交付税措置率:70%)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
306～ 307	10 教育費	8 市民会館費	1 市民会館 総務費	3-2	【単独】市民会館施設整備事業費 市民会館設備整備	千円 136,500

1 概 要

市民体育館競技場の煙感知器と文化ホールの音響調整卓及びスピーカーを更新し、適切な施設管理を行う。

2 事業内容

(1) 市民体育館競技場煙感知器取付工事 8,547 千円

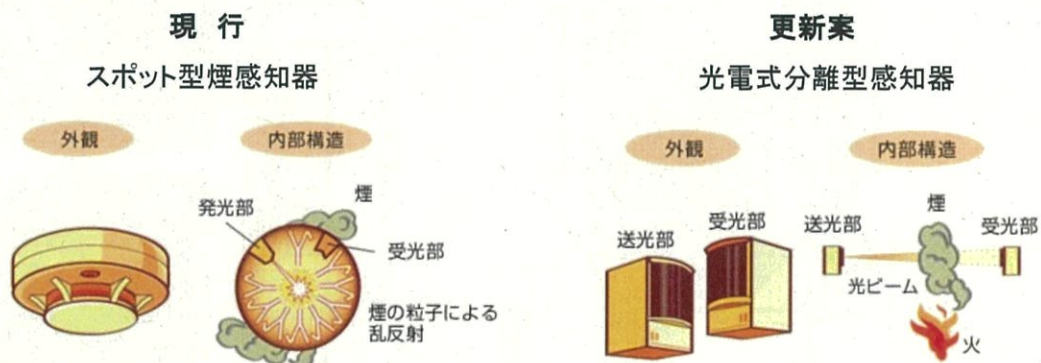
ア 工事内容

競技場天井に設置しているスポット型煙感知器を、点検が容易な光電式分離型感知器に取替えるもの。

また、煙感知器の更新により、受信機の火災報知機用蓄電池容量が不足するため、併せて装置を増設する。

イ 工事個所及び数量

- ・5階点検口付近…光電式分離型感知器(監視距離:5～100m) 6組
- ・2階事務室…火災報知機用蓄電池装置 1台



一般社団法人 日本火災報知機工業会ホームページより

ウ 工期 約4か月(現場工事は4週間程度)

令和2年							令和3年	
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
				← 現場工事 →				

エ 工事期間中の影響と対応

市民体育館競技場の床改修工事時期に現場工事時期を合わせることで、施設利用に与える影響を最低限に抑える。

(2) 文化ホール音響調整卓及びスピーカー更新工事 127,953 千円

ア 工事内容

雑音が発生するなど不具合が生じている文化ホールの音響調整卓及びスピーカーについて、催事に支障をきたさないよう機器を更新する。

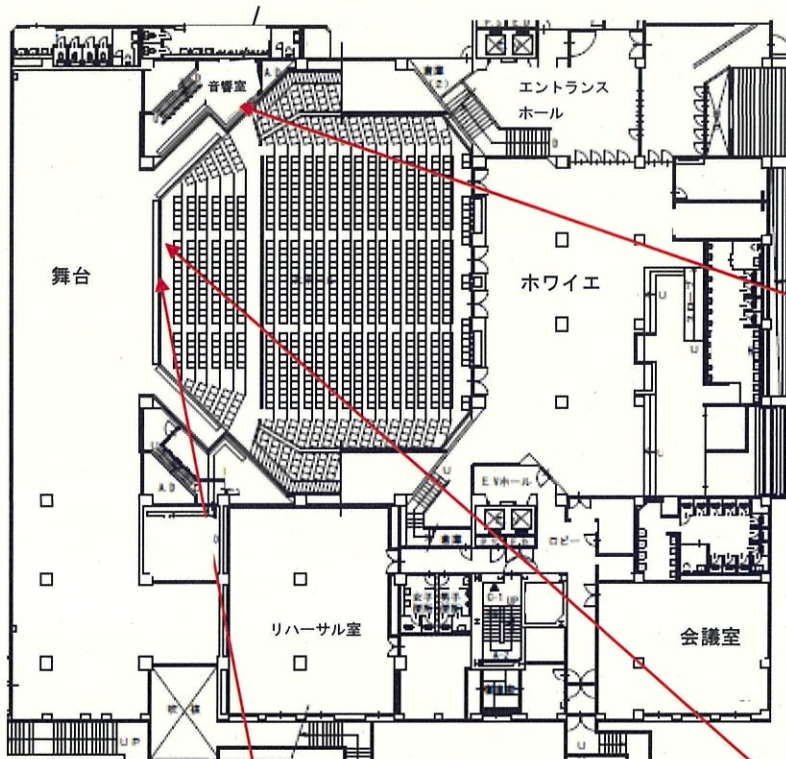
イ 更新機器及び数量

- ・音響調整卓……1 式
- ・パワーアンプ……6 台
- ・スピーカー……18 台ほか

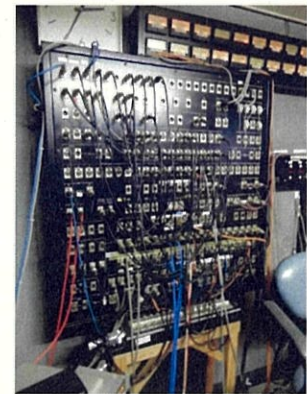
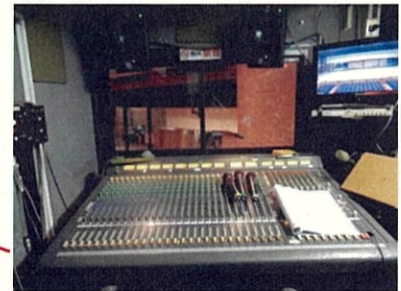
ウ 工期 約7か月(現場工事は4週間程度)

令和2年								令和3年	
5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
		←							→ 現場 工事

エ 文化ホール平面図



音響調整卓



スピーカー



オ 工事期間中の影響と対応

現場工事期間中は文化ホールを閉館しての作業となるため、年間で文化ホールの閑散期である1月に設定し、併せて経年劣化している文化ホールの座席シートの取替えを行う(市民会館管理運営費で計上)ことで、施設利用に与える影響を最低限に抑える。

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債 ※	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
136,500	—	—	129,600	—	6,900

※ 合併特例債 (充当率:95%、交付税措置率:70%)